

近代岡山における資産家・大地主

——『日本全国資産家地主資料集成』を中心として——

落 合 功

戦後三大改革の一つである農地解放の背景をめぐり戦後の地主制研究は多くの成果が生んできた¹⁾。とりわけ、近代経済史の重要な論点として寄生地主制論は注目されてきた²⁾。他方、最近の地主制研究は、寄生地主的な収奪を中心とした地主のイメージだけではなく、温情的地主論など地主—小作関係を対抗軸としてではなく協調的な関係から議論する事例を見ることができ³⁾。また、戦前期における小作争議の激化や政府の自作農政策、地主のレントナー化など

1) 中山清『近世大地主制の成立と展開』吉川弘文館、1998年)。大石嘉一郎・西田美昭編『近代日本の行政村—長野県埴科郡五加村の研究—』(日本経済評論社、1991年)、中村政則『近代日本地主制史研究—資本主義と地主制』(東京大学出版会、1979年)、森武麿『戦時日本農村社会の研究』(東京大学出版会、1999年)西田美昭「書評 大栗行昭著『日本地主制の展開と構造』」(『歴史評論 583』1998年)、坂根嘉弘・勝部真人「史学・経済史学の研究動向」『山村再生 21世紀の課題と展望』(『村落社会研究 第三十四集』1998年)、庄司俊作『日本農地改革史研究』(御茶の水書房、1999年)、高橋満『地主支配と農民運動の社会学』(御茶の水書房、2003年)、『地主制史研究 古島敏雄著作集 第8集』(東京大学出版会、1983年)、浅田喬二『日本資本主義と地主制—小作制大農場の展開構造—』(御茶の水書房、1963年)、暉峻衆三『日本農業史』(有斐閣、1981年)、島袋善弘『近代日本の農村社会と農地問題』(御茶の水書房、2013年)、庄司俊作『近現代日本の農村』(吉川弘文館、2003年)、大門正克『近代日本と農村社会』(日本経済評論社、1994年)、大栗行昭『日本地主制の展開と構造』(御茶の水書房、1997年)、坂根嘉弘「書評 大栗行昭著『日本地主制の展開と構造』」(『土地制度史学 161』、1998年)、坂根嘉弘「小作料統制令の歴史的意義」(『社会経済史学』69-1、2003年)、塩沢君夫・川浦康次『寄生地主制論 プルジョアの発展との関連 第二版』(1979年、御茶の水書房)。

2) 小島庸平「農業史—なぜ地主制が重要だったのか—」(松沢裕作・高嶋修一編『日本近・現代史研究入門』岩波書店、2022年)は、とても平易に問題意識を始めとして戦後地主制研究から現在に至るまでの研究史を丁寧に明らかにしている。詳細はそちらを参照されたい。

3) たえば、庄司俊作『日本農地改革史研究』(御茶の水書房、1999年)。

により、地主の問題を地主制の問題として理解することは難しい。また、近代資本主義の担い手を資本家として理解する立場から近代経済社会を資産家資本主義として議論を進める研究も見ることができる⁴⁾。

本論の対象である岡山県に目を転じると、関西に近い地域にもかかわらず、大地主が多く存在する点に特徴があり、小作争議も激烈だったことが指摘される。こうしたこともあり、地主制研究において、貴重な成果を生んでいる。

東京大学社会科学研究所編『倉敷紡績の資本蓄積と大原家の土地所有』は⁵⁾、倉敷市に所在する大原家を例に、土地集積、倉敷銀行との関係、有価証券投資、倉敷紡績の経営などから分析し、土地集積で得られた収入・利益を倉敷紡績の資金に投下していたことを明らかにしている。

大石嘉一郎編著『近代日本における地主経営の展開』では⁶⁾、牛窓町に所在する西服部家（服部平兵衛、服部和一郎家）を例に近代の地主制の展開を明らかにしている。近世後期から幕末期にかけて、醸造業（酢、醤油、酒）や貸付業を営み、さらに土地集積が行われており、近代以降になると、貸付業を積極的に営むようになる。明治10年代になると、醸造業が伸び悩む一方で、貸付業が順調で、その資金を土地集積に充てている。こうして、土地所得、貸付利益、有価証券収入が、収益の主体となり経営が行われていることを明らかにした。その後、日露戦争前後になると、大本家＝和一郎が土地、貸金、有価証券を担い、本家＝節二が酒造業、分家＝鹿太が醤油醸造業と、醸造業を大本家の経営から切り離すようになる。そして、大正6年（1917）ごろから植民地「朝鮮」での土地集積を開始し、農場経営と貸金経営を展開している。この時期に岡山の資産を減らし、有価証券投資を拡大することで収益を得て、その収益を植民地「朝鮮」への投資に充てたことを明らかにした。その後、昭和恐慌などを経て、農業経営の悪化、植民地「朝鮮」事業の停滞によりレントナー化が進

4) 中西聡『資産家資本主義の生成—近代日本の資本市場と金融—』（慶応義塾大学出版会、2019年）。

5) 東京大学社会科学研究所編『倉敷紡績の資本蓄積と大原家の土地所有』（1970年）。

6) 大石嘉一郎編著『近代日本における地主経営の展開』（御茶の水書房、1985年）。

むことを明らかにしている。

また、森本辰昭『近代日本における地主・農民経営』では⁷⁾、西服部家（服部平兵衛、服部和一郎）、溝手家（溝手保太郎）の土地集積の過程を明らかにしている。とりわけ西服部家の場合、明治初年には3町歩程度の小地主であったが、松方デフレ期に土地集積を進め、明治18年には50町歩、明治24年には100町歩を超える地主に成長する。そして、大正10年には195町歩を超える地主になるものの、他方、大正4年に小作争議を契機に、植民地「朝鮮」への農場経営にのりだし、890町歩もの大地主となっていることを明らかにした。また、溝手家においても、国内116町歩、植民地「朝鮮」への農場180町歩を所有する大地主に成長する一方、企業勃興期以後は有価証券投資に積極的となり、株式、公債の配当、利子収入が大きな比重を占めていることを明らかにしている。他に県南西部（鴨方村）の高戸家、自小作農家である寺坂家（東北條郡和村）などの中小地主経営にも注目している。

太田健一『日本地主制成立過程の研究—近畿型地主経営の分析—』は⁸⁾、近世後期から近代にいたるまでの地主制の成立から展開までを主として岡山県域を対象に明らかにしている。近世後期の興除新田、福田新田の開発から、近代に入り地主制が成立し、その後、1900年前後で土地集積がとどまると、かかる資金が何に投資されるかを明らかにした⁹⁾。

他にも、『倉敷市史 近代編』、『岡山県史 近代編』なども岡山県下の地主制について俯瞰できる成果である¹⁰⁾。

7) 森本辰昭『近代日本における地主・農民経営』（御茶の水書房、2007年）。

8) 太田健一『日本地主制成立過程の研究—近畿型地主経営の分析—』（福武書店、1981年）。

9) 野崎家の塩業経営、土地集積の実態については、有元正雄「巨大塩田・耕地地主の発展過程と特質」（広島史学研究会編『史学研究五十周年記念論叢 日本編』、福武書店、1980年）やナイカイ塩業株式会社社史編纂委員会編『備前兄島野崎家の研究—ナイカイ塩業株式会社成立史—』（1983年）で明らかにされている。

10) 岡山県史編纂委員会『岡山県史 第十巻 近代Ⅰ』（1986年）、岡山県史編纂委員会『岡山県史 第十一巻 近代Ⅱ』（1987年）、岡山県史編纂委員会『岡山県史 第十二巻 近代Ⅲ』（1989年）、倉敷市史研究会編『新修 倉敷市史 第5巻 近代（上）』（2002年）、倉敷市史研究会編『新修 倉敷市史 第6巻 近代（下）』（2004年）。

これらの成果は重厚な成果として高く評価できるし、多くの点で学ぶ点はある。最近、地主制（地主）研究が停滞しているといわれるが、それはこれまで重厚な成果を生んできたことで、やり尽くされた感があるためだといえるだろう。他方で、これまでの地主制の研究で明らかにされてきた通り、近代地主制の問題は基本的に各家の経営の問題として扱われている点に注意する必要がある。すなわち、家の経営として展望したとき、単に土地集積（土地所有）だけの問題ではなく、有価証券投資や植民地「朝鮮」への経営など多様な資金運用の在り方が展望できる。その意味で、地主の問題自体相対化する必要があるだろう。そして、地主を資産家の範疇にとらえて検討する必要があるように思われる。

以上を踏まえ、本論では、『日本全国資産家地主資料集成』所収の史料を中心に、岡山県の地主を中心とした資産家の動向を明らかにしたい¹¹⁾。

I 明治前期の資産家と野崎武吉郎

全国的な資産家を紹介しつつ、岡山県の特徴を紹介しよう。【表1】は明治23年の段階における資産家を紹介したものである。【表1】は、「大日本多額納税有名鏡」と「日本全国貴族院多額納税者議員互選名簿」をもとに作成した。同表の人数はちょうど100名である。職業を参照すると「農」が56名（「農工商」含）、商が34名と、ほとんどが農家（地主）か商人であった。とりわけ全国的にも農家が有力資産家として多かったことが判明する。掲載されている人数は、岡山県は6名である。有力資産家が多くいる県は、新潟県（15名）、香川県（7名）、秋田県（6名）、大阪府（6名）兵庫県（6名）、鳥取県（6名）

11) 渋谷隆一編『明治期日本全国資産家地主資料集成Ⅲ』（1984年）『明治期日本全国資産家地主資料集成Ⅳ』（1984年）渋谷隆一編『大正昭和日本全国資産家地主資料集成Ⅰ』（1985年、柏書房）、渋谷隆一編『大正昭和日本全国資産家地主資料集成Ⅲ』（1985年、柏書房）、渋谷隆一編『大正昭和日本全国資産家地主資料集成Ⅰ』（1985年、柏書房）、渋谷隆一編『大正昭和日本全国資産家地主資料集成Ⅳ』（1985年、柏書房）。

近代岡山における資産家・大地主

【表1】 明治23年（1890）における資産家（国税1,500円以上）

（単位は円）

		当選者	名前	職業	直税国税納額	地価額
青森県	北津軽郡		佐々木善太郎	農	2,262	88,000
青森県	上北郡	●	野村治三郎	商	1,887	75,400
青森県	北津軽郡		佐々木嘉太郎	商	1,658	66,300
岩手県	盛岡市		佐藤清右衛門	農	1,681	67,200
秋田県	仙北郡	●	池田甚之助	農	4,963	198,500
秋田県	秋田市		辻兵吉	商	2,333	93,300
秋田県	平鹿郡角間川村		本郷吉右衛門	農	1,954	78,100
秋田県	南秋田郡金足村		奈良茂	農	1,833	73,300
秋田県	南秋田郡下新城村		金澤松右衛門	農	1,540	61,600
秋田県	平鹿郡館合村		土田彦七	農	1,530	61,200
山形県	西田川郡		秋野茂右衛門	無職	2,644	93,400
山形県	西田川郡		木村九兵衛	農	1,810	72,000
山形県	飽海郡		小山太吉	商	1,609	64,300
宮城県	桃生郡		斎藤善右衛門	農	2,242	87,800
宮城県	仙台市		遠藤敬止	商	1,737	69,400
群馬県	南勢多郡		星野長太郎	商	3,380	135,000
東京府	日本橋区		村越庄左衛門	商	1,530	61,200
東京府	日本橋区		杉村甚兵衛	商	1,503	
埼玉県	北葛飾郡		鈴木庄五郎	農	1,892	75,600
埼玉県	新座郡		西川武左衛門	商	1,774	70,900
埼玉県	南埼玉郡		田村新藏	商	1,520	60,800
埼玉県	北安足郡		浅古牛兵衛	商	1,520	60,800
新潟県	北蒲原郡	●	市島徳次郎	農	11,282	424,500
新潟県	北蒲原郡		白勢長兵衛	農	9,825	373,000
新潟県	北蒲原郡		佐藤伊左衛門	農	6,841	263,100
新潟県	北蒲原郡		二宮孝順	農	6,625	252,200
新潟県	中頸城郡		保坂貞吉	農	5,943	228,100
新潟県	南蒲原郡		田卷三郎兵衛	農	5,540	212,700
新潟県	南蒲原郡		田卷丈七郎	農	5,201	190,700
新潟県	中蒲原郡		伊藤文吉	農	4,834	182,600
新潟県	南蒲原郡		市川厚次郎	農	4,702	182,200
新潟県	西蒲原郡		今井孫平	農	4,195	161,000
新潟県	北蒲原郡		五十嵐甚蔵	銀行頭取	3,922	148,600
新潟県	岩船郡		国井伴之丞	農	3,434	134,000
新潟県	中蒲原郡		吉田久平	農	3,376	130,000

青山經濟論集 第76卷 第1号

		当選者	名前	職業	直税国税納額	地価額
新潟県	北蒲原郡		圓山七衛武	農	2,713	104,000
新潟県	北蒲原郡		斎藤弥惣兵衛	農	2,698	93,500
富山県	上新川郡	●	馬場道久	商	1,981	79,200
富山県	上新川郡		小澤與三	商	1,855	74,200
山梨県	甲府市	●	若尾逸平	商	3,897	155,800
山梨県	東山梨郡		根津嘉一郎	農	1,703	
静岡県	富士郡		松永安彦	農	2,457	93,200
静岡県	佐野市		山崎千三郎	農	2,126	84,000
静岡県	有渡郡	●	安崎総五	農	1,728	69,000
静岡県	静岡市		渡辺伝八	商	1,610	64,000
愛知県	名古屋市		伊藤治郎左衛門	商	3,544	171,700
愛知県	海西郡		太宝 陣	農	2,450	98,000
愛知県	愛知郡		下郷次郎八	農	2,167	96,600
愛知県	名古屋市		伊藤忠左衛門	農	2,007	80,200
岐阜県	厚見郡		上松治郎一	農	1,696	67,800
三重県	桑名郡桑名		諸戸清六	雑業	4,785	191,400
三重県	津市		真弓屯之輔	雑業	1,995	79,800
三重県	三重郡四日市		九鬼紋七	商	1,723	68,900
三重県	員弁郡		木村誓太郎	農	1,646	65,800
大阪府	東区		鴻池新十郎	無職	2,836	113,500
大阪府	茨田郡		平池昇一	農	1,779	71,100
大阪府	東区		芝川又右衛門	商	1,629	64,400
大阪府	東区		高松長左衛門	商	1,605	64,200
大阪府	日根郡熊取村		原文平	商	1,536	61,400
大阪府	大鳥郡東陶器村		兒玉養守	農	1,522	60,800
兵庫県	印南郡		伊藤長次郎	農	8,841	353,600
兵庫県	赤穂郡		柴原甚三	商	2,746	109,000
兵庫県	印南郡		大西甚一平	農	2,388	353,600
兵庫県	加東郡		斯波喜氏	農	1,997	79,800
兵庫県	赤穂郡		奥藤研造	商	1,712	68,400
兵庫県	明石郡		米沢長衛	商	1,652	66,000
鳥取県	河村郡		市橋善三	農	2,727	109,000
鳥取県	河村郡		涌島長十郎	農	2,260	90,400
鳥取県	久米郡倉吉町	●	桑田藤十郎	商	1,899	75,900
鳥取県	会見郡成実村		三好八次郎	農	1,841	
鳥取県	河村郡		田江弥三郎	農	1,619	64,600
鳥取県	河村郡		益尾直藏	商	1,558	

近代岡山における資産家・大地主

		当選者	名前	職業	直税国税納額	地価額
島根県	飯石郡	●	田部長左衛門	鋳業	3,136	125,000
島根県	神門郡		山本芳太郎	農	2,718	108,700
島根県	鹿足郡		堀礼造	農工商	1,788	
島根県	松江市		岡崎運兵衛	無職	1,653	66,600
島根県	松江市		佐藤喜八郎	農	1,614	64,500
島根県	那珂郡		佐々田懋	農	1,575	60,000
岡山県	児島郡味野村	●	野崎武吉郎	農	5,865	234,600
岡山県	窪屋郡倉敷村		大原孝四郎	商	5,795	228,000
岡山県	窪屋郡倉敷村		大橋平右衛門	農	2,063	
岡山県	児島郡藤戸村		星島謹一郎	農	1,661	
岡山県	邑久郡牛窓村		服部平五郎	商	1,577	
岡山県	西北條郡		土居通信	農	1,576	
広島県	佐伯郡		八田謹二郎	農	2,242	85,600
広島県	深津郡		石井英太郎	農	1,645	65,800
香川県	山田郡古高松村		楊小三郎	無職	2,677	107,000
香川県	那珂郡丸亀町		黒瀬與重郎	商	2,070	82,100
香川県	三野郡		塩田忠左衛門	商	1,762	70,400
香川県	豊田郡観音寺村		浮田勝治郎	商	1,743	69,700
香川県	豊田郡河内村		大喜多彦三郎	農	1,669	66,700
香川県	多度郡多度津町		塩田與七	商	1,552	62,000
香川県	那珂郡丸亀町		入江太郎吉	無職	1,502	60,000
徳島県	板野郡		三木與吉郎	商	2,135	65,200
愛媛県	新居郡		森広太郎	農	2,139	
愛媛県	新居郡		広瀬満正	商	1,542	
高知県	高知市		浅井藤十郎	無職	5,240	209,000
佐賀県	佐賀市		田中清輔	商	11,997	455,500
佐賀県	佐賀市		深川嘉一郎	農	2,984	118,300
佐賀県	佐賀市		深川文十	農	1,850	118,300

【註】

- (1) 「大日本多額納税有名鏡」(明治23年)『明治期日本全国資産家地主資料集成Ⅲ』(1984年)参照。
- (2) 「日本全国貴族院多額納税者議員互選名簿」(明治23年)『明治期日本全国資産家地主資料集成Ⅳ』(1984年)参照。
- (3) ●は多額納税者議員当選者。
- (4) 「直接国税額」は1,500円以上を掲載した。円以下は切り捨て。なお、新潟県のみ、国税額1,500円以上で15名を超えているため、記載されていない場合もあり。
- (5) 「地価額」は、7万円以上、または国税額1,500円以上。円以下は切り捨て。なお、空白は「日本全国貴族院多額納税者議員互選名簿」にあって「大日本多額納税有名鏡」に記載が無いもの。

であることを考えると、岡山県は全国的にも多い県に入るといえるだろう。なお、岡山県屈指の資産家である野崎武吉郎の直接国税納額 5,865 円は全国でも上位から 8 番目、地価税額 234,600 円は全国的に上位から 7 番目であり、代表的な資産家といえる。

明治 31 年 (1898) の岡山県内の「多額納税者互選名簿」を参照すると (【表 2】)、農業が 7 名、商業が 6 名、無職が 2 名となっている。職業の分類は適当な面もあるが、一応の目安として考えたい。多額納税者互選名簿に記載されている 15 名の内、10 名が国税の 90% 以上が地租である。さらに全員が国税の 80% 以上が地租であるように、ほとんどの人が地租の負担が高いことは間違いない。

この点、安良城盛昭によれば、「岡山県南部平坦地帯における大寄生地主の発生とその土地集積は、明治 10 年代後半の松方デフレを経過した明治 20 年代初頭においてすでにほぼ完了していることは注目に値する」と述べている¹²⁾。森元辰昭も同様な理解で岡山県南部の大地主が競合する児島郡・都窪郡居住の大地主 (野崎家、星島家、大原家、溝手家) は新田開発地帯を中心に江戸時代後半から明治 20 年までにすでに 100 町歩を超える大地主となり、第二段目として松方デフレ期に土地を集積している地主が多いと述べている。ちなみに、森元が扱った西服部家 (邑久郡牛窓村) の場合、松方デフレ期に土地集積が本格化しており、集積地域が分散的であることに特徴を見出している¹³⁾。

このように岡山県域の地主制の特徴は松方デフレ期までに土地集積が行われ、遅くとも日露戦争前後 (明治後期) には土地所有は安定するのが一般的評価である。岡山県所在の地主について、明治 36 年 (1903) から大正 13 年 (1924) に至るまでの地租納入額の推移を示した【表 3】を参照しても、地租の大幅な

12) 安良城盛昭「土地集積過程」(東京大学社会科学研究所『倉敷紡績の資本蓄積と大原家の土地所有』1970年)もう少し、該当箇所について内容を紹介しておく、「明治 22 年当時、50 町歩以上の大地主となっており、なかでも野崎武吉郎は既に推計 456 町の土地所有規模に達しており、大原家同様、児島・都窪郡において土地集積を行なった。大橋・星島・日笠・梶谷・佐藤の地主は、大正 13 年時点におけるそれぞれの土地所有 69 ~ 100% が、既に明治 22 年時点において集積されている。」と、指摘している。

13) 森元辰昭『近代日本における地主・農民経営』(御茶の水書房、2007年)。

近代岡山における資産家・大地主

【表2】明治31年(1898)岡山県内における資産家

(単位は円)

	地租	所得税				合計	地租率 (%)
		土地から	金穀貸付から	商業から	営業から		
児島郡 味野村	野崎武吉郎	7,419.757	1,133.123			8,707.967	85.21
窪屋郡 倉敷町	大原孝四郎	5,876.070	631.950	75.000	155.047	6,508.770	90.28
児島郡 藤戸村	星嶋謹一郎	2,074.238	195.049			2,269.287	91.41
窪屋郡 倉敷町	大橋平右衛門	2,088.310	171.460			2,259.770	92.41
上道郡 西大寺町	伊藤茂平	1,849.625	133.200	150.060		2,132.885	86.72
邑久郡 牛窓村	服部平五郎	1,895.573	138.547	40.693	13.435	2,088.248	90.77
西北條郡 田邑村	土居通信	1,765.107	143.849	55.800		1,964.756	89.84
邑久郡 幸嶋村	片岡六郎	1,659.038	93.855			1,752.893	94.65
浅口郡 西之浦村	早瀬和平次	1,452.725	128.235		32.500	1,730.083	83.97
岡山市 二日市町	山上頼治	1,527.024	79.960			1,606.984	95.02
児島郡 藤戸村	日笠哲夫	1,480.075	93.141			1,573.216	94.08
吉野郡 米込村	豊福俊雄	1,456.828	114.723			1,571.551	92.70
都宇郡 茶屋町	佐藤栄八	1,208.427	94.780		181.440	1,484.647	81.40
窪屋郡 中洲村	都志太郎	1,394.889	79.305			1,474.194	94.62
邑久郡 牛窓町	服部平九郎	1,334.900	68.276	5.400	13.500	1,422.076	93.87

【註】

- (1) 合計が異なるものもあるが、史料のままにしてある。
- (2) 「全国多額納税者五選名鑑」参照
- (3) 渋谷隆一編『明治期日本全国資産家地主資料集成Ⅳ』（1984年、柏書房）

【表3】岡山県の大地主（地租納入額）

（単位は円）

	明治36年	明治38年	明治43年	大正3年	大正6年	大正11年	大正13年
野崎武吉郎	3,092.682	5,331.610	4,200.130	3,999.110	3,962.510	3,901.870	3,722.810
大原孝四郎	6,614.862		2,742.680	8,911.030	10,098.400	11,608.000	11,942.780
大橋平右衛門	2,344.210	4,627.920	4,963.280	4,756.040	4,794.190		4,925.800
星島謹一郎	1,852.981		2,123.358	2,195.430	2,495.280	2,607.490	2,466.510
土居通信	2,998.067	3,556.386	3,244.025	3,121.620	2,992.770	3,028.570	3,010.960
伊原木藻平	1,754.670	2,650.960	3,279.000	3,340.825	3,422.630	3,665.970	3,447.860
日笠啓夫	1,571.474	2,868.550		2,306.180		2,239.530	2,228.920
佐藤栄八	1,714.892	2,879.880	2,465.320	2,253.720	2,114.060		
服部平九郎	1,569.660	3,013.990	2,786.940	2,855.650	3,026.430	2,748.380	2,463.800
藤田林蔵	1,926.430	3,238.230	2,709.765	2,668.605	2,713.700	2,534.370	

【註】

「岡山県の大地主」『倉敷紡績の資本蓄積と大原家の土地所有 第二部附属資料（東京大学社会科学研究所調査報告 第12集）』（1970年）

増額はあまり見られず、岡山県では日露戦争後には土地集積が完了し、大地主として成長し、おおよその土地集積が見られないと考えられる。

県下最大の地主である野崎武吉郎について、明治29年（1896）に刊行された『両備紳門豪家名譽録』の一番最初に野崎武吉郎のことが紹介されている¹⁴⁾。

【史料】

両備紳門豪家名譽録

野崎武吉郎 貴族院議員 県下第壹之富豪

評 氏ハ県下第一ノ富豪家曾テ海防費献金ヲナシテ位階ヲ得、多額納税者中ヨリ撰バレテ貴族院議員タリ、常ニ公共的事業ニ義捐シテ惜ムナク、其褒状賞杯ヲ受ケシ事数フルニ暇アラズ、能ク富豪家ノ富豪家タル職責ヲ尽シテ社会ノ模範タルニ耻ザザルノ人ナリ

14) 「両備紳門豪家名譽録」（東京大学社会科学研究所編『倉敷紡績の資本蓄積と大原家の土地所有 第2部』1970年）。

野崎武吉郎は、【史料】に示した通り、明治23年の第一回多額納税者として貴族院議員に互選されている。地主としての地位も全国的にも有数であることは先に示した通りだが、他に大塩田地主としても著名であり、明治30年9月に開催された第二回水産博覧会では名誉金牌を受賞し、それに先立つ明治28年7月に開催された第四回内国勸業博覧会でも名誉銀牌を受賞しているように¹⁵⁾、塩業界でも確固たる地位を築いていた。

Ⅱ 大正期における地主・資産家

大正5年(1916)と大正15年(1926)の全国の資産家が俯瞰できる【表4】を参照すると、100万円以上の資産家は、大正5年(1916)で732名いるが、そのうち都市圏(東京府、神奈川県、愛知県、大阪府、京都府、兵庫県)で513名と7割であった。大正15年(1926)においてもその傾向は変わらず、合計702名のうち都市圏は507名と7割2分である。

大正13年(1924)6月に調査した、「50町歩以上の大地主」を検討すると、岡山県における地主制の特徴は、「近畿＝西日本のグループに属しながら、そのうちでも、50町歩以上大地主の比較的高い県に属している」「平野部、なかんずく、児島・都窪両郡に巨大寄生地主の成立が集中しており、このことが岡山県をして、近畿＝西日本の諸県の内でも巨大地主の比重を高からしめ、さらに50町歩以上大地主の密度・比重を高めている」と指摘している¹⁶⁾。

同史料について、岡山県のみを抽出した【表5】を参照すると、地主自体は岡山県南部のみでなく、真庭郡、苫田郡、御津郡など各郡に存在している。また、北海道や鳥取県、大阪府、兵庫県など県外に所有している地主もいるが、それは例外的で、おおよそは県内の土地を集積している。ただ、県内では複数

15) 落合功「近代殖産興業政策の展開と博覧会参加―博覧会・塩業界・経営主体―」(『国立歴史民俗博物館研究報告』第236集、2022年)。

16) 安良城盛昭「土地集積過程」東京大学社会科学研究所『倉敷紡績の資本蓄積と大原家の土地所有』1970年)。

【表4】大正5年(1916)、大正15年(1926)における資産家動向

(単位は人)

	大正5(1916)年					大正15(1926)年					合計
	100万 299万円	300万 499万円	500万 999万円	1,000万 4,999万円	5,000万円 ～	100万 299万円	300万 499万円	500万 999万円	1,000万 4,999万円	5,000万円 ～	
	合計					合計					
北海道	12	0	2	0	0	10	2	1	1	0	14
東京府	145	22	29	15	4	84	41	40	23	17	205
神奈川県	21	2	4	0	0	15	9	1	1	0	26
埼玉県	3	0	0	0	0	2	0	1	0	0	3
千葉県	3	1	0	0	0	2	0	1	1	0	4
茨城県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
群馬県	4	0	0	0	0	4	0	0	0	0	4
栃木県	2	0	0	0	0	3	0	0	0	0	3
福島県	3	0	0	0	0	3	0	0	0	0	3
宮城県	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1
岩手県	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
青森県	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
山形県	9	1	0	1	0	9	1	0	0	1	11
秋田県	5	1	0	0	0	5	1	0	0	0	6
長野県	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	2
山梨県	3	0	0	1	0	5	1	0	0	1	7
静岡県	1	1	0	0	0	1	0	1	0	0	2
愛知県	20	1	1	0	0	12	8	1	1	1	23
岐阜県	2	0	1	0	0	3	1	1	0	0	3
三重県	9	2	1	0	0	7	3	2	0	0	12
滋賀県	24	2	1	1	0	16	3	1	1	0	21
福井県	2	0	0	1	0	3	2	0	1	0	3
石川県	3	0	0	0	0	3	2	0	0	0	2

近代岡山における資産家・大地主

富山県	5	0	1	0	0	0	6	2	0	0	1	0	0	3
新潟県	21	6	0	1	0	28	7	7	6	0	3	1	17	
京都府	19	1	0	0	0	20	21	21	1	0	0	0	22	
大阪府	130	18	16	11	2	177	122	19	26	11	4	4	182	
奈良県	3	2	1	0	0	6	2	2	1	1	0	0	6	
和歌山県	4	0	0	0	0	4	3	0	0	0	0	0	3	
兵庫県	30	8	10	4	0	52	27	5	10	5	2	2	49	
鳥取県	3	0	0	0	0	3	3	3	0	0	0	0	3	
島根県	4	1	0	0	0	5	1	2	0	0	0	0	3	
岡山県	2	1	1	0	0	4	1	1	0	2	0	0	3	
広島県	4	0	0	0	0	4	3	0	0	0	0	0	3	
山口県	4	1	0	1	0	6	5	1	1	0	1	0	7	
徳島県	4	1	0	0	0	5	6	1	0	0	0	0	7	
香川県	3	0	0	0	0	3	4	0	0	0	0	0	4	
愛媛県	5	0	0	0	0	5	4	4	0	0	0	0	4	
高知県	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2	
福岡県	8	3	2	1	0	14	8	3	1	2	0	0	14	
佐賀県	2	1	0	0	0	3	2	0	1	0	0	0	3	
長崎県	4	1	1	0	0	6	3	1	1	0	0	0	5	
熊本県	3	0	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0	3	
大分県	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	
宮崎県	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	
鹿児島県	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	
合計	539	78	72	37	6	732	417	111	93	54	27	702	702	

【註】

- (1) 時事新報社編「全国五十万以上資産家表（大正五年）」
- (2) 岡野保編「大日本資産家大鑑（大正十五年）」
- (3) 「大正昭和 日本全国資産家地主資料集成 I」（1985年、柏書房）

【表5】岡山県における「五十町歩以上の大地主」（大正13年）

氏名	職業	住所		所有耕地反別		
				田（町）	畑（町）	合計（町）
山上岩二	会社重役	岡山市	二日市町	52.8	0.2	53.0
伊原木藻平	銀行員	岡山市	西中山下	112.1	12.8	124.9
小野芳次郎	会社重役	岡山市	新西大寺町	69.2	0.4	69.6
武藤寿太郎	銀行重役	御津郡	金川町	91.1	5.0	96.1
石井茂亭木	農	御津郡	新山村	60.4	9.1	69.5
深井吉次郎	醸造業	御津郡	一宮村	50.9	2.7	53.6
服部平兵衛	会社員	邑久郡	牛窓町	107.3	12.7	120.0
仲崎善太郎	農	邑久郡	行幸村	59.9	3.4	63.3
横山藤八	醸造業	邑久郡	鶴山村	49.8	2.5	52.3
松岡豊五郎	農	上道郡	雄神村	58.0	1.2	59.2
伊原木寿太郎	無	上道郡	西大寺町	49.2	1.6	50.8
野崎武吉郎	農	児島郡	味野町	527.5	32.4	559.9
星島謹一郎	銀行重役	児島郡	藤戸町	122.1	3.3	125.4
合資会社星島財団	銀行重役	児島郡	藤戸町	67.9	0.7	68.6
日笠哲夫	農	児島郡	藤戸町	100.8	0.5	101.3
大原孫三郎	会社重役	都窪郡	倉敷町	309.0	13.0	322.0
大橋平右衛門	銀行重役	都窪郡	倉敷町	145.4	8.5	153.9
北田久右衛門	農	都窪郡	倉敷町	77.8	1.0	78.8
高杉一	農	都窪郡	三須村	63.8	1.3	65.1
守屋文治	農	都窪郡	中州村	60.4	1.7	62.1
梶谷堅一郎	農	都窪郡	中州村	64.8	1.5	66.3
溝手保太郎	銀行員	都窪郡	早島町	109.2	1.3	110.5
佐藤栄八	商	都窪郡	茶屋町	71.4	0.2	71.6
原澄治	会社重役	都窪郡	倉敷町	65.2	0.3	65.5
財団法人大原奨農会		都窪郡	倉敷町	199.5	3.2	202.7
中村秀次郎	会社員	都窪郡	帯江村	60.1	0.6	60.7
小野はし	農	浅口郡	長尾村	108.6	26.7	135.3
金光撰胤	金光教副管長	浅口郡	金光町	7.6	119.7	127.3
早瀬吉松	地主	浅口郡	連島町	48.6	16.1	64.7
藤田林蔵	銀行重役	吉備郡	足守町	102.2	3.1	105.3
加藤三郎	金銭貸付業	吉備郡	岡田村	41.9	11.8	53.7
板野茂登一	無	吉備郡	秦村	32.8	18.5	51.3
戸田竜雄	無	上房郡	水田村	56.7	10.5	67.2
西村弘一	無	上房郡	高梁町	42.4	17.2	59.6
小川茂	農	阿哲郡	野馳村	40.2	11.8	52.0
高田信一郎	無	真庭郡	川東村	82.9	1.6	84.5
河本直一郎	会社重役	真庭郡	勝山町	44.8	9.2	54.0
遠藤重篤	無	真庭郡	川上村	40.4	13.5	53.9
中島守次	金銭貸付業	真庭郡	中和村	41.5	10.3	51.8
小出浦助	農	真庭郡	美川村	42.7	8.1	50.8
土居道博	銀行重役	苫田郡	田邑村	133.3	2.0	135.3
土居通憲	代議士	苫田郡	田邑村	53.6	1.7	55.3
池上愛太郎	無	勝田郡	和氣村	73.3	11.4	84.7
山根菊弘・竹田ハルノ		高梁町	本町	10.0	91.2	101.2

【註】

(1) 農務省農務局調査「大正13年 五十町歩以上ノ大地主」（『大正昭和日本全国資産家地主資料集成 I』）

近代岡山における資産家・大地主

田割合	耕地の主たる所在郡名、町村数	小作人 戸数
99.6	御津郡1、上道郡1、岡山市	120
89.8	岡山市、邑久郡4、上道郡7、児島郡1、赤磐郡1、苫田郡1、兵庫県1、鳥取県東伯郡1	250
99.4	赤磐郡5、上道郡2、児島郡1、御津郡1	380
94.8	御津郡5、赤磐郡6、都窪郡1	571
86.9	御津郡9、上房郡3、真庭郡2	254
95.0	御津郡4	
89.4	邑久郡8、赤磐郡4、和気郡2	639
94.6	邑久郡12、赤磐郡3、和気郡3、上道郡4	515
95.2	邑久郡5、上道郡1、和気郡9	120
98.0	邑久郡5、上道郡8、赤磐郡3	127
96.9	上道郡12	560
94.2	児島郡10、都窪郡2、御津郡1、上道郡4、和気郡1、邑久郡4、上房郡1、浅口郡1	1,509
97.4	児島郡9	404
99.0	児島郡2、大阪府北河内郡1	92
99.5	児島郡3、都窪郡4	348
96.0	都窪郡21、児島郡4、吉備郡2、和気郡1、岡山市	1,250
94.5	都窪郡10、吉備郡1、浅口郡2、岡山市	
98.7	都窪郡10、児島郡2、岡山市	230
98.0	吉備郡3、都窪郡4	224
97.3	都窪郡5、吉備郡4	283
97.7	都窪郡8、浅口郡2	310
98.8	都窪郡5、浅口郡2	312
99.7	都窪郡3、児島郡3、岡山市、都窪郡1	301
99.5	都窪郡13、児島郡2	205
98.4	都窪郡7、児島郡2、吉備郡9、御津郡1、赤磐郡1、和気郡2	560
99.0	都窪郡4、児島郡1	313
80.3	浅口郡3、都窪郡1	374
6.0	浅口郡1、北海道紋別郡1	112
75.1	浅口郡3、児島郡1	518
97.1	吉備郡11、岡山市、都窪郡3	350
78.0	吉備郡7	240
63.9	吉備郡4	150
84.4	上房郡3、真庭郡1	329
71.1	上房郡8、川上郡1	249
77.3	阿哲郡7	86
98.1	真庭郡14、久米郡2、岡山市	263
83.0	真庭郡7、苫田郡1	
75.0	真庭郡6	
80.1	真庭郡5、苫田郡1、鳥取県東伯郡1	
84.1	真庭郡10、上房郡1、久米郡1	140
98.5	苫田郡 8	386
96.9	苫田郡 4、久米郡 1	241
86.5	勝田郡12、英田郡 2、久米郡 6	378
9.9	北海道河西郡 1	15

1985年)

の郡にまたがる地主が多い。たとえば、最大の地主である野崎武吉郎は8郡、伊原木藻平は岡山市と5郡および兵庫県、鳥取県に耕地を有していた。大原孫三郎の場合、自身の所有地とともに大原奨励会で425町歩弱を有しているが、岡山市および6郡で耕地を有している。西服部家も松方デフレ期に各地の土地を集積したことを紹介しているが、同表でも服部家は3郡にまたがっており、この傾向は例外ではないだろう。

同表からもう一つ岡山県における地主の傾向を紹介すると、田畑のうち田地のしめる割合が高いことが明らかとなる。同表を参照すると50町歩以上の地主が44名掲載されており、そのうち100町歩地主は14名であるが、田地が9割以上が9名、8割以上になると12名になる。他の2人については、1人は金光教副管長であり、もう1人は9割以上北海道に耕地所有地を有していることから、例外といえる。そう考えると、岡山県下の著名な地主はほぼ全員が田地を意識的に集積していることがわかる。この傾向は、全体の44名のうちでも27名が9割以上が田地であり、36名が8割以上の田地を有している。この点は、岡山県下の米作農業に対する問題とも関わっているように思われる。

他方、都宇郡早鳥村の溝手家は、近世後期の新田開発を契機に土地集積を進め、幕末には85町歩もの土地を集積していた。松方デフレ期に30町歩程度集積し、100町歩地主となる。ただ、その後は土地集積ではなく、株式・公債への投資に積極的となり、さらに1910年の日韓併合が行われると、植民地「朝鮮」に進出し、180町歩の農場を経営している¹⁷⁾。このように大正期になると、地主経営の範囲を朝鮮半島へ広げる場合や、株式投資などで資産を増やす場合など、農業（土地集積）ではなく、収入を別の方法で投資し、資産を増やす場合が増えている。

【表6】は大正7年の多額納税者議員互選人名簿を参考にしながら5,000円以上に限定し抄録したものである。東京府、神奈川県、新潟県、長野県、京都府、大阪府、兵庫県は5,000円以上で15名以上を超えているため、網羅的に

17) 森元辰昭『近代日本における地主・農民経営』御茶の水書房、2007年、大石嘉一郎編著『近代日本における地主経営の展開』1985年、御茶の水書房)。

記載されているわけではない。

全体で 258 名いるが、職業で分類すると、商 142、農 55、工 39、会社員 7、銀行員 5、官吏 1、医者 1、無職 5、他に、会社員・商業 1、会社員・商工業 1、商工業 1 となっている。もっとも大原孫三郎が会社員となっているように分類の基準はあいまいだが、おおよその分類として理解しても商業活動を営む者や工業活動を営む者（工場主）などが台頭し、農業経営者（地主）が相対的に後退している様子がわかるだろう。また、納税額のうち、地租が 6 割を超えるものは 36 名、地租が 5 割を超えるものは 73 名に対し、所得税が 5 割を超えるものは 173 名、さらに所得税が 6 割を超えるものは 150 名と圧倒的に多い。このように都市部の企業家や商人、工業者が資産家として成長している。この傾向は、岡山県域においても同様である。

【表 7】は岡山県下における貴族院多額納税者互選資格見込者を列記したものである。岡山県下の資産額 15 万円以上の 200 名の名前が掲載されている。資産家は岡山県全域に広がっていることがわかるが、資産額が 100 万円以上となると 37 名に絞られ、地域としても、岡山市 9 名、都窪郡 10 名、児島郡 8 名、上道郡 3 名、苫田郡 3 名、御津郡 2 名、吉備郡 1 名、川上郡 1 名と、岡山県南部に集中する。そして、納税額 900 万円を超えるものとなると 9 名に絞られ、岡山市 4 名、都窪郡 3 名、児島郡 1 名、久米郡 1 名と、都市部に集中していたことがわかるだろう。また、分類は必ずしも適切とは言えないが、同表に基き主だった職業を紹介すると、商業（問屋、仲買、販売等含む）48 名、農業 30 名、土木請負業 13 名、工業（糸、織物、花筵業）9 名、酒造業 23 名、醤油酢醸造業 6 名、銀行業・貸付業 13 名、議員（貴族議員議員、衆議院議員、村長、町長、村会議員、町会議員）32 名などである。他にも開墾業、技師、鉱山業、興業など様々いる。（1 人で町会議員と酒醸造業とか、農業と酒造業を併記している場合もある。上記人数は加味しているので、重複している場合がある。）いずれにせよ、大正期になると資産家は岡山市域の事業家や商業活動を営むものが資産家として成長し、資産家としての地主の地位は相対的に後退しているといえるだろう。

【表6】大正7年(1918)多種納稅者議員互選人名簿參照(5,000円以上)

	職業	名前	納稅額(円)				納稅割合(%)			
			地租	所得稅	營業稅	合計	地租割合	所得稅割合	營業稅割合	
青森県	五所川原町	農	佐々木嘉太郎	6,760	5,586		12,346	54.75	45.25	0.00
青森県	野辺郷町	商	野村治三郎	3,522	2,399		5,922	59.47	40.51	0.00
青森県	七戸町	商	盛田喜平治	2,581	2,333	221	5,136	50.25	45.42	4.30
青森県	北津軽郡	商	安田才助	2,385	2,183	489	5,057	47.16	43.17	9.67
秋田県	仙北郡	農	池田文太郎	10,516	15,426	1,054	26,997	38.95	57.14	3.90
秋田県	西馬音内町	農	柴田卷助	1,515	6,328	200	8,044	18.83	78.67	2.49
秋田県	南秋田郡	農	奈良磐松	4,882	2,298		7,180	67.99	32.01	0.00
秋田県	湯澤町	農	小川長右衛門	3,704	3,298		7,002	52.90	47.10	0.00
秋田県	平鹿郡	農	土田萬助	4,197	2,598	104	6,900	60.83	37.65	1.51
秋田県	北秋田郡	農	庄司兵藏	3,548	3,054		6,602	53.74	46.26	0.00
秋田県	秋田市	商	辻兵吉	4,098	2,018		6,116	67.00	33.00	0.00
秋田県	秋田市	商	本間金之助	3,697	2,254	105	6,057	61.04	37.21	1.73
秋田県	西馬音内町	農	柴田興之助	2,061	3,421	175	5,658	36.43	60.46	3.09
秋田県	雄勝郡	官吏	佐々木喜代治	621	4,769	125	5,516	11.26	86.46	2.27
秋田県	秋田市	商	加賀谷長兵衛	3,179	1,811	238	5,229	60.80	34.63	4.55
山形県	鶴岡町	商	風間幸右衛門	6,453	4,048	0	10,502	61.45	38.55	0.00
山形県	加茂町	農	秋野光廣	5,799	4,013	0	9,813	59.10	40.89	0.00
山形県	大石田町	農	佐藤茂兵衛	4,999	3,893	178	9,071	55.11	42.92	1.96
山形県	大石田町	農	渡辺喜助	4,524	3,851	313	8,689	52.07	44.32	3.60
山形県	西田川郡	農	木村九兵衛	3,974	3,419	388	7,782	51.07	43.93	4.99
山形県	東置賜郡	工	多勢亀五郎	246	4,595	1,912	6,754	3.64	68.03	28.31
山形県	東村山郡	農	佐藤莊右衛門	3,705	2,778	0	6,484	57.14	42.84	0.00
山形県	山形市	商	長谷川吉三郎	3,602	1,369	168	5,141	70.06	26.63	3.27
宮城県	仙台市	工	伊藤平左衛門	3,876	2,983	185	7,044	55.03	42.35	2.63
宮城県	栗原郡	商	大庭経之輔	3,696	2,756	343	6,796	54.38	40.55	5.05
宮城県	桃生郡	農	阿部秀逸	2,524	2,942	340	5,807	43.46	50.66	5.86
宮城県	米谷町	工	佐藤甚九郎	2,825	2,604	183	5,613	50.33	46.39	3.26
宮城県	遠田郡	商	野田真一	2,454	2,805	183	5,412	45.34	51.83	3.38

近代岡山における資産家・大地主

宮城県	古川町	商	永澤安之助	3,422	1,622	152	5,130	66.71	31.62	2.96
福島県	東白川郡	農	松本島之介	2,947	2,078	289	5,315	55.45	39.10	5.44
福島県	東田方町	商	風間善九郎	2,148	2,360	689	5,197	41.33	45.41	13.26
東京府	東京市	商	森岡平右衛門	1,587	83,566	4,077	89,231	1.78	93.65	4.57
東京府	東京市	商	村上喜代次	1,305	72,437	2,707	76,450	1.71	94.75	3.54
東京府	東京市	工	安田善三郎	11,726	31,449	0	43,175	27.16	72.84	0.00
東京府	東京市	商	大野宗太郎	515	38,858	1,549	40,922	1.26	94.96	3.79
東京府	東京市	工	栗原幸八	616	34,667	669	35,954	1.71	96.42	1.86
東京府	東京市	商	中村萬之助	10	33,752	0	33,763	0.03	99.97	0.00
東京府	東京市	銀行員	堀越角次郎	14,162	14,333	0	28,495	49.70	50.30	0.00
東京府	東京市	商	河合佐兵衛	92	25,296	1,994	28,243	3.37	89.57	7.06
東京府	東京市	商	小布施新三郎	0	16,191	11,182	27,374	0.00	59.15	40.85
東京府	東京市	商	林小兵衛	642	18,256	6,064	24,963	2.57	73.13	24.29
東京府	東京市	商	玉塚栄次郎	395	14,844	8,376	23,616	1.67	62.86	35.47
東京府	東京市	商	北島亘	0	13,402	8,098	21,500	0.00	62.33	37.67
東京府	東京市	商	島田利右衛門	645	18,397	1,916	20,959	3.08	87.78	9.14
東京府	東京市	商	山田香	0	9,494	9,065	18,560	0.00	51.15	48.84
東京府	東京市	商	今井又治郎	57	10,617	6,761	17,442	0.33	60.87	38.76
神奈川県	横浜市	商	原富太郎	2,605	35,842	3,274	41,722	6.24	85.91	7.85
神奈川県	横浜市	商	安部幸兵衛	554	32,545	2,217	35,317	1.57	92.15	6.28
神奈川県	横浜市	商	増田増蔵	499	15,655	2,831	18,986	2.63	82.46	14.91
神奈川県	横浜市	商	渋沢義一	717	9,205	5,503	15,426	4.65	59.67	35.67
神奈川県	横浜市	商	若尾幾造	2,469	4,662	2,090	9,222	26.77	50.55	22.66
神奈川県	横浜市	会社員	小野光景	2,727	6,013	0	8,741	31.20	68.79	0.00
神奈川県	横浜市	商	鳥居徳兵衛	534	7,182	255	7,972	6.70	90.09	3.20
神奈川県	横浜市	会社員	左右田喜一郎	3,133	4,795	0	7,928	39.52	60.48	0.00
神奈川県	横浜市	商	大谷嘉兵衛	4,336	3,298	151	7,785	55.70	42.36	1.94
神奈川県	横浜市	商	朝田権四郎	3,582	2,678	232	6,493	55.17	41.24	3.57
神奈川県	横浜市	会社員	渡辺和太郎	4,043	2,074	0	6,118	66.08	33.90	0.00
神奈川県	中郡	農	小塩八郎右衛門	2,931	2,404	641	5,976	49.05	40.23	10.73
神奈川県	横浜市	商	渡辺文七	446	2,478	2,914	5,839	7.64	42.44	49.91

	職業	名前	納税額 (円)				納税割合 (%)		
			地租	所得税	營業税	合計	地租割合	所得税割合	營業税割合
神奈川県	横浜市	石川徳右衛門	3,982	1,640	0	5,623	70.82	29.17	0.00
神奈川県	横浜市	松下久治郎	74	3,879	1,662	5,616	1.32	69.07	29.59
新潟県	南蒲原郡	田巻堅太郎	18,057	11,134	0	29,191	61.86	38.14	0.00
新潟県	北蒲原郡	斎藤彦太郎	14,972	13,892	0	28,965	51.69	47.96	0.00
新潟県	北蒲原郡	二宮孝順	13,012	7,589	0	20,601	63.16	36.84	0.00
新潟県	三條町	堤清六	4	20,525	0	20,529	0.02	99.98	0.00
新潟県	西蒲原郡	今井孫右	9,890	8,157	0	18,047	54.80	45.20	0.00
新潟県	中頸城郡	保坂潤治	10,800	5,477	0	16,277	66.35	33.65	0.00
新潟県	南蒲原郡	田巻三郎兵衛	10,244	4,460	0	14,705	69.66	30.33	0.00
新潟県	北原町	佐藤光興	7,839	5,381	0	13,220	59.30	40.70	0.00
新潟県	北蒲原郡	圓山琢左衛門	7,182	4,366	351	11,899	60.36	36.69	2.95
新潟県	五泉町	吉田久平	7,589	3,751	0	11,341	66.92	33.07	0.00
新潟県	北蒲原郡	五十嵐甚蔵	7,301	3,801	0	11,102	65.76	34.24	0.00
新潟県	永原町	佐藤友右衛門	7,280	3,566	0	10,847	67.12	32.88	0.00
新潟県	中蒲原郡	中野忠太郎	6,399	4,271	0	10,671	59.97	40.02	0.00
新潟県	岩船郡	國井伴之丞	7,064	4,134	0	10,199	69.26	40.53	0.00
新潟県	小千谷町	西脇清三郎	5,606	4,174	0	9,780	57.32	42.68	0.00
石川県	江沼郡	大家七平	1,081	63,223		64,304	1.68	98.32	0.00
石川県	江沼郡	広海二三郎	426	8,152	9,372	17,951	2.37	45.41	52.21
石川県	江沼郡	西出孫左衛門	26	5,802	72	5,900	0.44	98.34	1.22
富山県	東礪波郡	佐藤助九郎	2,503	4,078	3,074	9,657	25.92	42.23	31.83
富山県	高岡市	平能伊右衛門	25	5,626	1,583	7,235	0.35	77.76	21.88
富山県	入善町	米沢興三次	4,334	2,265		6,599	65.68	34.32	0.00
富山県	岩瀬町	馬場道久	4,353	1,234		5,588	77.90	22.08	0.00
富山県	射水郡	橋清治郎	2,558	2,709	254	5,522	46.32	49.06	4.60
富山県	高岡市	大坪富次郎	18	4,885	131	5,035	0.36	97.02	2.60
福井県	坂井郡	大塚善太郎	1	17,486	67	17,554	0.01	99.61	0.38
福井県	敦賀町	大和田莊七	1,364	1,126	3,487	5,978	22.82	18.84	58.33
山梨県	甲府市	若尾謹之助	14,775	14,983		29,758	49.65	50.35	0.00

近代岡山における資産家・大地主

山梨県	東山梨郡	農	根津啓吉	3,283	2,394		5,678	57.82	42.16	0.00
長野県	諏訪郡	工	片倉兼太郎	492	36,583	4,456	41,532	1.18	88.08	10.73
長野県	諏訪郡	工	片倉俊太郎	213	24,968	1,322	26,502	0.80	94.21	4.99
長野県	諏訪郡	工	片倉武雄	203	21,073		21,276	0.95	99.05	0.00
長野県	須坂町	工	越壽三郎	210	18,122	2,502	20,835	1.01	86.98	12.01
長野県	諏訪郡	工	今井五介	426	18,314	1,854	20,595	2.07	88.92	9.00
長野県	諏訪郡	工	小口今朝吉	381	17,224	1,828	19,434	1.96	88.63	9.41
長野県	諏訪郡	工	尾沢福太郎	242	15,114	3,878	17,236	1.40	87.69	22.50
長野県	諏訪郡	工	笠原房吉	298	11,610	2,550	14,459	2.06	80.30	17.64
長野県	諏訪郡	工	片倉為吉	3	10,750	908	11,662	0.03	92.18	7.79
長野県	諏訪郡	工	片倉勝衛	119	10,821		10,941	1.09	98.90	0.00
長野県	須坂町	工	田中新一助	211	7,389	1,564	9,165	2.30	80.62	17.06
長野県	諏訪郡	工	林国蔵	83	7,492		8,576	0.97	87.36	0.00
長野県	諏訪郡	工	小林善重	186	5,374	2,742	8,304	2.24	64.72	33.02
長野県	下諏訪町	工	小口松五郎	20	5,845	1,671	7,537	0.27	77.55	22.17
長野県	上諏訪町	工	土橋長兵衛	55	6,943	156	7,155	0.77	97.04	2.18
岐阜県	岐阜市	会社員兼商業	日下部久太郎	57	104,007		104,064	0.05	99.95	0.00
岐阜県	岐阜市	銀行員	渡辺甚吉	3,487	4,433		7,920	44.03	55.97	0.00
静岡県	田方郡	商	緒明圭造	60	97,871	0	97,931	0.06	99.94	0.00
静岡県	富士郡	農	松永安彦	3,826	1,674	17	5,517	69.35	30.34	0.31
静岡県	富士川町	商	勝呂平右衛門	24	3,798	1,223	5,045	0.48	75.28	24.24
愛知県	名古屋市	商	鈴木金右衛門	25	91,427	530	91,983	0.03	99.40	0.58
愛知県	名古屋市	商	後藤新十郎	1,491	9,770		11,262	13.24	86.75	0.00
愛知県	半田町	商	中壘又左衛門	659	8,069	2,448	11,178	5.90	72.19	21.90
愛知県	一宮町	商	豊島半七	267	9,366	747	10,381	2.57	90.22	7.20
愛知県	半田町	商	小栗三郎	1,110	6,643	2,423	10,178	10.91	65.27	23.81
愛知県	名古屋市	商	吉田栄助	99	8,129	440	8,669	1.14	93.77	5.08
愛知県	浅井町	医	森林平	662	7,226	200	8,088	8.18	89.34	2.47
愛知県	名古屋市	工	豊田佐助	36	4,599	1,391	6,028	0.60	76.29	23.08
愛知県	幡豆郡	商	判治孫斎治	6	5,164	512	5,682	0.11	90.88	9.01
愛知県	名古屋市	商	村瀬周輔	691	3,693	1,176	5,560	12.43	66.42	21.15

	職業	名前	納税額 (円)				納税割合 (%)			
			地租	所得税	営業税	合計	地租割合	所得税割合	営業税割合	
愛知県	名古屋市	商	小出庄兵衛	1,069	3,429	950	5,449	19.62	62.93	17.43
愛知県	名古屋市	商	高松定一	1,562	3,125	704	5,391	28.97	57.97	13.06
愛知県	名古屋市	工	鈴木政吉	58	4,709	542	5,309	1.09	88.70	10.21
三重県	松坂町	商	長谷川治郎兵衛	63	45,030		45,093	0.14	99.86	0.00
三重県	松坂町	商	小津満左衛門	1,156	12,723	2,024	15,904	7.27	80.00	12.73
三重県	尾鷲町	商	土井八郎兵衛	617	10,572	307	11,498	5.37	91.95	2.67
三重県	一志郡	農	山内栄五郎	143	5,336	415	5,895	2.43	90.52	7.04
三重県	木本町	商	奥川吉三郎	693	4,897		5,590	12.40	87.60	0.00
三重県	四日市市	商	九鬼紋七	3,422	1,745	274	5,442	62.88	32.07	5.03
奈良県	高市郡	農	岡橋清左衛門	1,312	10,637		11,949	10.98	89.02	0.00
奈良県	上市町	商	北村又右衛門	285	5,045		5,330	5.35	94.65	0.00
奈良県	奈良市	銀行員	木本源吉	1,831	3,412	38	5,283	34.66	64.58	0.72
和歌山県	和歌山市	工	宇治田六左衛門	2,612	4,046	547	7,206	36.25	56.15	7.59
和歌山県	和歌山市	商	竹中源助	491	5,879	812	7,183	6.84	81.85	11.30
和歌山県	黒江町	商	名手由兵衛	2,386	3,468	936	6,791	35.13	51.07	13.78
滋賀県	高宮町	商	前川善三郎	1,106	13,843		14,950	7.40	92.60	0.00
滋賀県	八幡町	商	西川甚五郎	45	9,041	26	9,113	0.49	99.21	0.29
滋賀県	神崎郡	商	外村興左衛門	216	6,556		6,772	3.19	96.81	0.00
滋賀県	八幡町	商	森五郎兵衛	598	4,910		5,509	10.85	89.13	0.00
滋賀県	蒲生郡	工	鈴木忠右衛門	730	4,486		5,216	14.00	86.00	0.00
京都府	京都市	商	大村彦太郎	115	33,717	0	33,833	0.34	99.66	0.00
京都府	京都市	商	前川弥助	142	20,627	980	21,750	0.65	94.84	4.51
京都府	京都市	商	大澤徳太郎	195	16,355	1,655	18,205	1.07	89.84	9.09
京都府	京都市	商	中江種造	822	15,390	414	16,627	4.94	92.56	2.49
京都府	京都市	商	湯浅七左衛門	236	12,377	0	12,614	1.87	98.12	0.00
京都府	京都市	商	辻忠郎兵衛	203	6,310	3,707	10,220	1.99	61.74	36.27
京都府	京都市	商	田中伊助	1,271	7,534	715	9,521	13.35	79.13	7.51
京都府	京都市	商	内貫清兵衛	1,072	5,264	1,200	7,437	14.41	70.78	16.14
京都府	京都市	商	大浦新太郎	191	5,261	1,816	7,269	2.63	72.38	24.98

近代岡山における資産家・大地主

京都府	京都市	商	西村治兵衛	890	5,435	815	7,141	12.46	76.11	11.41
京都府	京都市	商	市田文次郎	161	5,339	1,368	6,869	2.34	77.73	19.92
京都府	峰山町	商	吉村伊助	1,219	3,865	1,767	6,852	17.79	56.41	25.79
京都府	伏見町	工	大倉恒吉	300	5,044	1,492	6,838	4.39	73.76	21.82
京都府	京都市	商	西村総左衛門	539	4,710	1,491	6,740	8.00	69.88	22.12
京都府	京都市	商	山中平吾	1,905	3,533	1,298	6,737	28.28	52.44	19.27
大阪府	大阪市	会社員	住友吉左衛門	18,796	223,822	22,292	264,910	7.10	84.49	8.41
大阪府	大阪市	商	林竹三郎	539	102,267	7,819	110,627	0.49	92.44	7.07
大阪府	大阪市	商	岩田惣三郎	503	83,385	2,858	86,748	0.58	96.12	3.29
大阪府	大阪市	商	岸本吉右衛門	799	54,103	5,749	60,653	1.32	89.20	9.48
大阪府	大阪市	商	竹原友三郎	4,228	39,665	12,461	56,356	7.50	70.38	22.11
大阪府	大阪市	商	津田勝五郎	500	50,188	3,394	54,083	0.92	92.80	6.28
大阪府	大阪市	商	尼崎伊三郎	1,790	45,531	6,325	53,647	3.34	84.87	11.79
大阪府	大阪市	商	野村徳七	2,274	36,093	12,465	50,833	4.47	71.00	24.52
大阪府	大阪市	商	山口玄洞	3,459	33,851	4,429	41,740	8.29	81.10	10.61
大阪府	大阪市	商	黒川幸七	788	28,496	11,474	40,760	1.93	69.91	28.15
大阪府	大阪市	商	伊藤萬助	1,073	31,132	4,429	36,635	2.93	84.98	12.09
大阪府	大阪市	商	吉村玉吉	237	33,936	868	35,042	0.68	96.84	2.48
大阪府	大阪市	商	島定治郎	328	26,727	4,549	31,606	1.04	84.56	14.39
大阪府	大阪市	会社員	吉田長敬	114	31,432	0	31,547	0.36	99.64	0.00
大阪府	大阪市	会社員	山中直七	1,231	25,809	3,744	30,786	4.00	83.83	12.16
兵庫県	武庫郡	商	河内研太郎	285	116,941	0	117,227	0.24	99.76	0.00
兵庫県	神戸市	商	勝田銀次郎	100	51,566	16,528	68,195	0.15	75.62	24.24
兵庫県	神戸市	無	小寺謙吉	15,494	17,775	0	33,271	46.57	53.42	0.00
兵庫県	印南郡	農	伊藤長次郎	17,323	6,308	0	23,630	73.31	26.69	0.00
兵庫県	神戸市	商	松本源七	250	19,680	1,595	21,526	1.16	91.42	7.41
兵庫県	神戸市	商	伊藤長蔵	751	18,483	926	20,161	3.73	91.68	4.59
兵庫県	神戸市	商	中島保之助	645	18,637	868	20,151	3.20	92.49	4.31
兵庫県	須磨町	無	九鬼肇輝	10,804	7,875	0	18,679	57.84	42.16	0.00
兵庫県	神戸市	商	範多龍太郎	388	17,426	653	18,469	2.10	94.35	3.54
兵庫県	神戸市	商	山本博一	239	15,910	1,300	17,449	1.37	91.18	7.45

	職業	名前	納税額 (円)				納税割合 (%)			
			地租	所得税	営業税	合計	地租割合	所得税割合	営業税割合	營業税割合
兵庫県	工	西宮市	辰馬吉左衛門	863	11,249	5,319	17,433	4.95	64.53	30.51
兵庫県	工	魚崎町	山邑太左衛門	3,140	10,992	4,894	17,027	18.44	64.56	28.74
兵庫県	農	赤穂郡	奥藤研造	8,486	8,250	0	16,737	50.70	49.29	0.00
兵庫県	無	神戸市	小曾根喜一郎	8,061	6,020	0	14,181	56.84	42.45	0.00
兵庫県	商	西宮町	野田三蔵	292	8,060	4,068	12,420	2.35	64.90	32.75
鳥取県	工	根雨町	近藤喜兵衛	1,744	18,573	971	21,290	8.19	87.24	4.56
鳥取県	農	東伯郡	市橋亀蔵	4,028	1,186	55	5,269	76.45	22.51	1.04
鳥取県	農	米子町	坂口平兵衛	3,499	1,619	5	5,119	68.35	31.63	0.00
高根県	工	鹿足郡	堀藤十郎	2,588	44,175	924	47,687	5.43	92.64	1.94
高根県	工	飯石郡	田部長右衛門	5,144	5,326	295	10,766	47.78	49.47	2.74
高根県	農	籾川郡	高橋隆一	5,370	3,713	372	9,456	56.79	39.27	3.93
高根県	農	那智郡	佐々田懋	3,648	3,535	189	7,372	49.48	47.95	2.56
高根県	農	簸川郡	山本厚太郎	4,341	2,853		7,194	60.34	39.66	0.00
岡山県	会社員	倉敷町	大原孫三郎	10,098	8,612		18,710	53.97	46.03	0.00
岡山県	農	倉敷町	大橋平右衛門	4,794	2,815		7,609	63.00	37.00	0.00
岡山県	農	味野町	野崎武吉郎	3,962	2,598		6,560	60.40	39.60	0.00
岡山県	商	邑久郡	津田資郎	14	5,960		5,974	0.23	99.77	0.00
広島県	工	福山市	藤井與一右衛門	3,992	3,030	234	7,257	55.01	41.75	3.22
広島県	銀行員	深安郡	桑田彦三郎	3,209	3,484	10	6,704	47.87	51.97	0.15
広島県	商	呉市	水野甚次郎	202	4,427	2,038	6,667	3.03	66.40	30.57
広島県	銀行員	尾道市	橋本吉兵衛	3,144	2,178		5,322	59.08	40.92	0.00
広島県	農	呉市	沢原俊雄	3,730	1,591		5,321	70.10	29.90	0.00
山口県	工	厚狭郡	渡辺祐策	249	18,668		18,917	1.32	98.68	0.00
山口県	商	玖珂郡	鳥谷徳三郎	46	18,651		18,698	0.25	99.75	0.00
山口県	商	都濃郡	橋本文六	6	5,670	451	6,127	0.10	92.54	7.36
徳島県	商	小松島町	西野嘉右衛門	4,096	7,764		11,860	34.54	65.46	0.00
徳島県	商	徳島市	美馬儀一郎	2,988	5,176	1,805	9,971	29.97	51.91	18.10
徳島県	商	板野郡	三木與吉郎	3,779	5,647	75	9,502	39.77	59.43	0.79
香川県	農	木田郡	大西行證	5,292	2,638	0	7,931	66.73	33.26	0.00

近代岡山における資産家・大地主

香川県	三豊郡	商	塩田忠左衛門	3,779	2,851	0	7,160	52.78	39.82	0.00
香川県	多度津町	農	塩田各治	4,143	1,890	0	6,034	68.66	31.32	0.00
香川県	三豊郡	農	大喜多三郎	3,933	2,061		5,995	65.60	34.38	0.00
香川県	坂出町	商	鎌田勝太郎	2,806	2,222		5,500	51.02	40.40	0.00
愛媛県	波止浜町	商	八木三郎	441	15,179	68	15,689	2.81	96.75	0.43
愛媛県	温泉郡	商	新田伸太郎	256	7,885		8,142	3.14	96.84	0.00
愛媛県	北宇和郡	商	小西莊三郎	2,023	3,187	709	5,920	34.17	53.83	11.98
愛媛県	永見町	農	森広太郎	4,000	1,761	64	5,825	68.67	30.23	1.10
愛媛県	雑居郡	農	広瀬満正	3,078	1,904	45	5,028	61.22	37.87	0.89
福岡県	飯塚町	工	麻生太吉	2,778	62,537	204	65,521	4.24	95.45	0.31
福岡県	速賀郡	工	三好徳松	622	22,419	0	23,042	2.70	97.30	0.00
福岡県	嘉穂郡	工	中野徳次郎	1,161	14,172	0	15,333	7.57	92.43	0.00
福岡県	福岡市	商	野村久次	1,743	8,397	1,727	11,868	14.69	70.75	14.55
福岡県	久留米市	商	佐藤弥吉	92	10,654	560	11,307	0.81	94.22	4.95
福岡県	戸畑町	工	安川清三郎	1,031	7,130	2,110	10,273	10.04	69.41	20.54
福岡県	門司市	工	中野金次郎	117	7,686	0	7,803	1.50	98.50	0.00
福岡県	福岡市	商	太田清蔵	3,722	2,618	89	6,430	57.88	40.72	1.38
福岡県	山門郡	農	立花寛治	3,088	2,820	0	5,908	52.27	47.73	0.00
福岡県	福岡市	商	荒津長七	89	5,624	0	5,714	1.56	98.42	0.00
大分県	高田町	農	野村礼治郎	3,114	2,059	0	5,174	60.19	39.80	0.00
佐賀県	佐賀市	商	伊丹弥太郎	3,924	2,720	246	6,892	56.94	39.47	3.57
佐賀県	佐賀市	商	伊丹鉄太郎		6,511		6,511	0.00	100.00	0.00
長崎県	佐世保市	商	橋本喜造	33	25,403	586	26,021	0.13	97.62	2.25
長崎県	長崎市	商	原真一	162	20,644	1,051	21,858	0.74	94.45	4.81
長崎県	北松浦郡	無	松浦厚	8,876	7,663	0	16,539	53.67	46.33	0.00
長崎県	長崎市	工	松尾孫八	89	3,110	2,002	5,201	1.71	59.80	38.49
長崎県	南松浦郡	商	西村力之助	641	4,469	0	5,110	12.54	87.46	0.00
熊本県	熊本市	商	古莊健次郎	1,611	5,425	1,266	8,302	19.40	65.35	15.25
熊本県	八代町	商	臼削和三	3,662	4,551	37	8,251	44.38	55.16	0.45
熊本県	上益城郡	農	富永猿雄	4,281	2,872	107	7,261	58.96	39.55	1.47
熊本県	宮原町	商	井芹暎也	2,758	3,323	799	6,881	40.08	48.29	11.61

	職業	名前	納税額 (円)				納税割合 (%)			
			地租	所得税	営業税	合計	地租割合	所得税割合	営業税割合	
熊本県	熊本市	商	渡辺敬衛門	394	4,933	1,474	6,802	5.79	72.52	21.67
熊本県	菊池郡	農	江藤茂	2,127	3,483	612	6,224	34.17	55.96	9.83
熊本県	八代郡	無	松井敏三	1,127	5,018		6,146	18.34	81.65	0.00
熊本県	熊本市	商	島田四郎	1,382	4,706	50	6,138	22.52	76.67	0.81
熊本県	飽託郡	農	水野辰彦	2,987	2,527	315	5,830	51.23	43.34	5.40
熊本県	熊本市	商	田村久八	1,018	3,366	675	5,061	20.11	66.51	13.34
宮崎県	東臼杵郡	工	内藤政拳	1,876	1,503		55,186	3.40	2.72	0.00
宮崎県	東臼杵郡	商	小田清兵衛	1,518	13,910	255	15,684	9.68	88.69	1.63
宮崎県	南那珂郡	商	神戸辰蔵	1,134	6,202	365	7,703	14.72	80.51	4.74
宮崎県	佐土原町	商	高橋辰吉	1,139	6,332	164	7,636	14.92	82.92	2.15
宮崎県	東臼杵郡	商	日高栄三郎	638	6,756	66	7,461	8.55	90.55	0.88
宮崎県	飨肥町	商	高橋源次郎	1,277	5,701	50	7,029	18.17	81.11	0.71
宮崎県	飨肥町	商	岡善市	1,080	5,633	248	6,992	15.45	80.56	3.55
宮崎県	東臼杵郡	商	谷仲吉	2,286	4,214	147	6,648	34.39	63.39	2.21
宮崎県	小林町	商	森山彦之丞	33	5,731	134	5,899	0.56	97.15	2.27
宮崎県	油津町	商	河野崇太郎	209	4,688	270	5,168	4.04	90.71	5.22
鹿児島県	出水郡	商	中山友太郎	356	4,755	1,237	6,349	5.61	74.89	19.48
鹿児島県	鹿児島市	商	山下喜兵衛	271	3,242	1,553	5,068	5.35	63.97	30.64
鹿児島県	薩摩郡	商	上野喜左衛門	1,452	3,126	472	5,051	28.75	61.89	9.34

【註】

- (1) 以下の県は互選資格者の最低納税額が5,000円以上のため、全ての5,000円以上の納税者が記載されているわけではない。(東京、17,442円、京都府、6,737円、大阪府、30,786円、神奈川県、5,616円、兵庫県、12,430円、新潟県、9,780円、長野県、7,155円)
- (2) 合計が異なる場合もあるがそのままとした。
- (3) 「貴族院多額納税者議員互選人名簿」(大正7年)
- (4) 渋谷隆一編『大正昭和 日本全国資産家地主資料集成 IV』(1985年) 参照。

近代岡山における資産家・大地主

【表7】大正14年（1925）6月 岡山県資産家一覧

（単位は円）

	本籍	住所	党派	官公職・職業	資産額	納税額
菱川吉衛	岡山市	岡山市	政友会	土木請負業	700,000	35,897
岡崎増太郎	岡山市	岡山市	中立	会社員	7,000,000	20,241
山下忠四郎	小田郡	岡山市	政友本党	土木請負業	300,000	19,506
伊原木藻乎	岡山市	岡山市	中立	銀行員	4,000,000	10,985
今井又三郎	岡山市	岡山市	中立	生魚問屋	100,000	5,298
小野善吉	岡山市	岡山市	中立	綿糸布商	4,000,000	5,298
本郷半次郎	岡山市	岡山市	中立	金物商	300,000	3,651
山上岩二	岡山市	岡山市	政友会	取引所理事	500,000	3,406
木下唯助	岡山市	岡山市	政友本党派	興業	300,000	3,219
小西荘造	岡山市	岡山市	中立	米穀商	1,500,000	3,900
矢吹太郎	岡山市	岡山市	中立	仲買業	100,000	3,095
枝松東造	岡山市	岡山市	中立	乾物商	70,000	1,575
豊崎彦次郎	岡山市	岡山市	中立	綿糸商	150,000	1,519
岡村幸吉	岡山市	岡山市	中立	呉服商	50,000	1,505
福武敏重	浅口郡	岡山市	中立	医師	300,000	1,505
板谷重吉	岡山市	岡山市	中立	足袋製造業	50,000	1,355
河本種太郎	岡山市	岡山市	中立	乾物商	100,000	1,339
浮田金五郎	岡山市	岡山市	中立	仲買業	50,000	1,270
山本與八郎	岡山市	岡山市	中立	仲買業	30,000	1,285
藤原熊太郎	岡山市	岡山市	政友会	砂糖商	200,000	1,242
津下銀太郎	岡山市	岡山市	中立	材木商	100,000	1,239
尾谷半三郎	岡山市	岡山市	中立	金物商	300,000	1,104
岡精二	岡山市	岡山市	中立	醬油醸造業	150,000	1,119
高旗徳造	岡山市	岡山市	中立	置屋業	100,000	3,026
生水順三郎	都窪郡	岡山市	中立	仲買業	300,000	2,527
野崎善吉	岡山市	岡山市	中立	金銭貸付業	200,000	2,513
佐々木志賀治	岡山市	岡山市	政友会派	開墾業	1,000,000	2,337
西原力男	児島郡	岡山市	中立	弁護士	300,000	2,321
吉行澤太郎	岡山市	岡山市	中立	土木請負業	150,000	2,186
武田庄次郎	岡山市	岡山市	中立	料理店業	150,000	2,181
鳥越下学	小田郡	岡山市	中立	仲買業	50,000	2,215
楠見忠三郎	岡山市	岡山市	中立	土木請負業	300,000	2,109
高原衞吉	岡山市	岡山市	中立	呉服商	100,000	2,097
都志太郎	都窪郡	岡山市	政友会	銀行員	1,000,000	2,068
山本半次郎	岡山市	岡山市	政友会	料理店業	200,000	2,026
武藤八郎	岡山市	岡山市	中立	料理店業	100,000	2,057
多田利吉	岡山市	岡山市	中立	仲買業	100,000	1,990
難波官佐	岡山市	岡山市	中立	土木請負業	30,000	1,953
福田常次郎	岡山市	岡山市	中立	会社員	100,000	1,937
長田一郎	邑久郡	岡山市	中立	官吏	500,000	1,904

	本籍	住所	党派	官公職・職業	資産額	納税額
森元市	岡山市	岡山市	中立	仲買業	100,000	1,832
羽原音次郎	岡山市	岡山市	中立	土木請負業	200,000	1,700
中島元三郎	岡山市	岡山市	中立	呉服商	150,000	1,671
大江義三郎	岡山市	岡山市	中立	呉服商	150,000	1,668
林原保次郎	岡山市	岡山市	中立	製飴業	30,000	1,668
岡崎斧五郎	岡山市	岡山市	中立	仲買業	200,000	1,657
津島重太郎	岡山市	岡山市	中立	石炭商	50,000	1,582
三宅力松	岡山市	岡山市	中立	薬種商	300,000	1,117
宇垣卯三郎	岡山市	岡山市	中立	貴金属商	50,000	1,098
石本於義太	岡山市	岡山市	中立	医師	70,000	1,084
岡田新次郎	岡山市	岡山市	中立	酒醸造業	70,000	1,082
高畑定次郎	岡山市	岡山市	中立	呉服商	50,000	1,075
栄谷利一	岡山市	岡山市	中立	呉服商	70,000	1,053
谷測金十郎	上道郡	岡山市	中立	米穀商	400,000	1,834
小林戒三	浅口郡	岡山市	中立	会社員	500,000	1,567
塩見源一郎	呂久郡	岡山市	政友会派	米取引所員	5,000	1,497
小山一篤	岡山市	岡山市	中立	無職	1,300,000	1,398
大村繁松	岡山市	岡山市	中立	金銭貸付業	250,000	1,316
星島茂	児島郡味野町	岡山市	政友会派	運送業	100,000	1,200
齐藤吉平	御津郡	岡山市	政友会	土木請負業	60,000	1,192
服部重蔵	岡山市	岡山市	中立	会社員	1,000,000	1,332
逢沢寛	御津郡	岡山市	旧革新派	土木請負業	500,000	1,084
武藤壽太郎	御津郡	御津郡	政友会	無職	1,700,000	4,056
石井茂亭木	御津郡	御津郡	中立	農業	1,000,000	2,564
深井吉次郎	御津郡	御津郡	政友会派	酢醸造業	500,000	1,907
大賀善十郎	御津郡	御津郡	政友会	村長	447,000	1,873
野崎武吉郎	児島郡	児島郡	中立	塩田業	2,000,000	9,978
星島謹一郎	児島郡	児島郡	政友会	農業	3,500,000	7,729
日笠哲夫	児島郡	児島郡	政友会	農業	2,500,000	5,465
尾崎邦蔵	児島郡	児島郡	政友会	織物業	2,000,000	5,218
日笠祐太郎	児島郡	児島郡	政友会	農業	1,000,000	2,717
藤原兵太郎	香川県小豆郡	児島郡	中立	請負業	80,000	2,187
星島義兵衛	児島郡	児島郡	政友会派	農業	1,500,000	1,868
小川貴	児島郡	児島郡	中立	無職	1,500,000	1,742
片山徳次郎	児島郡	児島郡	中立	織物問屋	300,000	1,489
三宅信太郎	児島郡	児島郡	中立	会社員	200,000	1,586
大野弥市	児島郡	児島郡	中立	織物製造業	500,000	1,334
松本藤吉	児島郡	児島郡	中立	農業	500,000	1,200
松野喜重	児島郡	児島郡	中立	足袋製造業	300,000	1,065
中田一郎	児島郡	児島郡	中立	酒醸業	200,000	1,590
近藤啓次郎	児島郡	児島郡	中立	村会議員	800,000	5,977
藤原槌松	児島郡	児島郡	中立	土木請負業	300,000	3,477

近代岡山における資産家・大地主

	本籍	住所	党派	官公職・職業	資産額	納税額
土光歌次郎	御津郡	御津郡	中立	農業	800,000	2,085
尾崎勘一	児島郡	児島郡	中立	織物業	500,000	1,131
宮原秀一	児島郡	児島郡	政友会	日比町町長	3,000,000	8,000
松岡豊五郎	上道郡	上道郡	政友会派	村会議員	1,500,000	4,022
山本仲助	上道郡	上道郡	中立	呉服商	1,300,000	3,504
伊原木寿太郎	上道郡	上道郡	中立	無職	1,500,000	2,743
河面熊太郎	上道郡	上道郡	中立	米穀商	300,000	1,734
岸本周造	上道郡	上道郡	中立	無職	490,000	1,754
石原和三郎	上道郡	上道郡	中立	材木商	400,000	1,490
岡崎林兵衛	上道郡	上道郡	中立	農業	370,000	1,298
大森佐吉	上道郡	上道郡	中立	町会議員	300,000	1,198
岡崎勝次	上道郡	上道郡	中立	農業	240,000	1,143
井上栄城	上道郡	上道郡	中立	農業	150,000	1,057
服部平兵衛	邑久郡	岡山市	中立	材木商	4,500,000	8,018
横山藤八	邑久郡	邑久郡	旧革新系	酒造業	452,000	2,915
仲崎善吉郎	邑久郡	邑久郡	中立	無職	850,000	2,488
長尾天津治	邑久郡	岡山市	中立	塩田業	400,000	1,756
長尾広太郎	邑久郡	岡山市	中立	無職	170,000	1,569
中山方次	邑久郡	邑久郡	中立	酒造業	157,000	1,388
谷本嘉四郎	邑久郡	邑久郡	旧革新系	酒造業、村長	430,000	1,373
服部節二	邑久郡	邑久郡	中立	酒造業	800,000	1,264
生本三次郎	赤磐郡	赤磐郡	中立	農業、酒造業	500,000	2,113
橋本芳治	赤磐郡	赤磐郡	中立	農業	350,000	1,428
越宗大平	赤磐郡	赤磐郡	中立	農業、酒造業	100,000	1,061
金谷一二	和気郡	和気郡	中立	酒造業	600,000	1,297
片尾関太郎	和気郡	和気郡	中立	金銭貸付業	300,000	1,173
金谷大介	和気郡	和気郡	中立	呉服商	500,000	1,128
松枝四方吉	浅口郡	浅口郡	中立	村会議員、除虫菊商	80,000	3,800
三宅元雄	浅口郡	岡山市	政友会派	無職	600,000	1,856
高見徳一郎	浅口郡	浅口郡	中立	酒造業	400,000	1,251
藤井清太郎	浅口郡	浅口郡	中立	宿屋業	150,000	1,197
大野友松	浅口郡	浅口郡	中立	醤油醸造業	400,000	1,180
山本久一郎	浅口郡	浅口郡	中立	町会議員、酒醸造業	500,000	1,160
池田平作	浅口郡	兵庫県武庫郡	中立	綿商	100,000	1,130
川上庄七	浅口郡	浅口郡	中立	酒造業	200,000	1,290
高戸郁三	浅口郡	浅口郡	政友会	銀行重役	500,000	1,112
藤井長三郎	小田郡	小田郡	中立	穀物商	120,000	1,113
大塚尚一	小田郡	小田郡	中立	織物業	800,000	1,854
久我於菟一郎	小田郡	小田郡	中立	無職	900,000	1,487
福武豊造	小田郡	岡山市	旧革新俱樂部	無職	300,000	1,458
石居源次郎	小田郡	小田郡	中立	町会議員、酒醸造業	500,000	1,311
江木伯助	小田郡	小田郡	中立	村会議員、無職	500,000	1,143

	本籍	住所	党派	官公職・職業	資産額	納税額
金原末太郎	後月郡	後月郡	中立	材木商	350,000	1,597
藤井秀次郎	後月郡	後月郡	中立	米穀商	100,000	1,298
角野要平	吉備郡	吉備郡	中立	酒造業	600,000	2,313
水川芳太郎	吉備郡	吉備郡	中立	土木建、普請請負業	37,000	2,169
梶谷舜治	吉備郡	吉備郡	中立	農業	400,000	1,757
加藤三郎	吉備郡	吉備郡	中立	農業	1,000,000	1,535
藤田卯助	吉備郡	吉備郡	中立	米穀商	100,000	1,330
岡惣平	小田郡	小田郡	中立	土木請負業	350,000	1,053
荻野繁太郎	阿哲郡	阿哲郡	政友会	村会議員、酒造業	500,000	2,612
太池百治	阿哲郡	阿哲郡	政友会	町会議員、呉服商	350,000	1,519
西村弘一	上房郡	岡山市	政友会	無職	330,000	1,637
池上長右衛門	上房郡	岡山市	政友会	無職	320,000	1,338
仁熊藤次郎	上房郡	上房郡	政友会	醤油醸造業	350,000	1,367
小出治彦	上房郡	上房郡	中立	岡山県技師	100,000	1,353
小出義彦	上房郡	上房郡	中立	医師、酒造業	200,000	1,301
西江清一	川上郡	川上郡	旧革新俱樂部	鉱山業	1,000,000	3,019
長尾佐助	川上郡	川上郡	旧革新俱樂部	町長	500,000	1,556
浅野金右衛門	川上郡	川上郡	中立	酒造業	100,000	1,544
大原孫三郎	都窪郡	都窪郡	中立	帝国經濟会職員、紡績業	11,000,000	30,475
大橋平右衛門	都窪郡	都窪郡	政友会	大橋銀行頭取	2,700,000	10,128
溝手保太郎	都窪郡	都窪郡	研究会員	貴族院議員	3,000,000	9,990
難波弥一郎	都窪郡	都窪郡	中立	村会議員、呉服商	900,000	5,214
網島長次郎	都窪郡	都窪郡	中立	農業	1,000,000	4,697
守屋文治	都窪郡	都窪郡	中立	村会議員、農業	1,000,000	3,667
内田金衛	都窪郡	都窪郡	政友会	村会議員、農業	850,000	3,474
北田久右衛門	都窪郡	都窪郡	中立	農業	1,500,000	3,397
中村秀次郎	都窪郡	都窪郡	中立	正織株式会社社長	1,000,000	2,810
原田安治	都窪郡	都窪郡	中立	農業	900,000	2,706
佐藤安平	都窪郡	都窪郡	中立	花筵業	300,000	2,450
高杉一	都窪郡	都窪郡	中立	農業	1,000,000	2,429
鴨井銀三	都窪郡	都窪郡	中立	乾物問屋	1,800,000	2,403
佐藤宇七郎	都窪郡	都窪郡	中立	農業	600,000	1,961
仁科清吉	都窪郡	都窪郡	中立	肥料、呉服商	120,000	1,815
寺山研太郎	都窪郡	都窪郡	中立	農業	700,000	1,494
陶波歆太	都窪郡	都窪郡	中立	村会議員	500,000	1,325
網島吉一郎	都窪郡	都窪郡	中立	町会議員、花筵業	500,000	1,349
溝手幾三郎	都窪郡	都窪郡	中立	花筵業	500,000	1,349
中村純一郎	都窪郡	都窪郡	中立	村会議員、第一合同銀行専務	550,000	1,114
原澄治	都窪郡	都窪郡	中立	倉敷紡績会社取締役	1,200,000	1,075
土居通博	苫田郡	苫田郡	中立	山陽銀行頭取	1,700,000	7,335
内田寛	苫田郡	苫田郡	中立	取引仲買業	600,000	4,340

近代岡山における資産家・大地主

	本籍	住所	党派	官公職・職業	資産額	納税額
久山猪八郎	苫田郡	苫田郡	中立	醤油醸造業	400,000	4,202
松本幸四郎	苫田郡	苫田郡	中立	材木商	700,000	3,590
土居通憲	苫田郡	苫田郡	政友会	衆議院議員、会社重役	1,100,000	3,106
蒔田善榮	苫田郡	苫田郡	政友本党派	酒造業	300,000	2,874
蒔田善次郎	苫田郡	苫田郡	政友本党派	酒類販売業	500,000	2,587
鶴田修平	苫田郡	苫田郡	中立	呉服商	150,000	1,969
菅田起夫	苫田郡	苫田郡	政友会派	村会議員、農業	350,000	1,852
山本五作	苫田郡	苫田郡	中立	町会議員、酒造業	600,000	1,820
梶村良治	苫田郡	苫田郡	政友本党派	帽子原料製造業	300,000	1,691
井上林吉	苫田郡	苫田郡	中立	無職	400,000	1,499
山田猪之助	苫田郡	苫田郡	中立	無職	380,000	1,352
池田照五郎	苫田郡	苫田郡	中立	村会議員、農業	200,000	1,318
岡本憲吾	苫田郡	苫田郡	中立	金銭貸付業	142,500	1,318
森本慶三	苫田郡	苫田郡	中立	無職	250,000	1,291
橋本英一	苫田郡	苫田郡	政友会派	農業	400,000	1,291
内田諭一郎	苫田郡	苫田郡	中立	村会議員、三等郵便局長	300,000	1,290
岡島音吉	苫田郡	苫田郡	中立	金銭貸付業	200,000	1,081
辻武十郎	苫田郡	苫田郡	政友会派	町会議員、酒造業	1,000,000	3,669
河本英雄	苫田郡	苫田郡	政友会派	所得税調査委委員、農	950,000	3,431
高田信一郎	苫田郡	苫田郡	政友会	無職	900,000	2,859
井手元太郎	真庭郡	真庭郡	政友会派	農業	850,000	2,757
小出補助	真庭郡	真庭郡	政友本党	岡山県農工銀行取締役	800,000	2,267
中島守次	真庭郡	真庭郡	政友本党	村会議員、金銭貸付業	300,000	1,686
太田末吉	真庭郡	真庭郡	政友会派	町会議員、煙草売捌人	250,000	1,353
大月峰雄	真庭郡	真庭郡	中立	大月製糸株式会社社長	300,000	1,268
高田善諭	真庭郡	真庭郡	中立	村会議員、無職	250,000	1,266
高田為美	真庭郡	真庭郡	政友会派	所得税調査委委員、無職	200,000	1,256
宮島晋	真庭郡	真庭郡	中立	医師	150,000	1,098
治部壽太郎	久米郡	久米郡	政友会	農	600,000	9,789
西山和三郎	久米郡	久米郡	中立	土木請負業	500,000	6,686
池上愛太郎	勝田郡	勝田郡	政友本党	村会議員、農業	350,000	4,295
多胡又治郎	勝田郡	勝田郡	中立	酒造業	250,000	1,603
福原留五郎	勝田郡	勝田郡	政友会派	村会議員、酒造業	350,000	1,128
春名順治郎	勝田郡	勝田郡	中立	町会議員、醤油醸造業	600,000	1,531
原田玉之助	勝田郡	勝田郡	政友会派	酒造業	550,000	1,059

【註】

- (1) 「貴族多額納税者互選資格者見込表（大正一四年）」参照
- (2) 渋谷隆一編『大正昭和日本全国資産家地主資料集成Ⅳ』（1985年、柏書房）

Ⅲ、岡山県における資産家・地主の変遷

近代岡山の資産家の動向を明治23年(1890)から昭和14年(1939)にかけての資産家の推移を示した【表8】を参照しつつ、岡山県下の地主の動向について、これまでの研究成果を含めつつ紹介しよう¹⁸⁾。なお、これまでの叙述と重複している内容もあることをあらかじめお断りしておきたい。

明治初期における岡山県下の資産家を展望したとき、野崎武吉郎(丹斐太郎)と大原孝四郎(孫三郎)が県下の中でも突出した有力者として指摘できる。野崎家は、近世の段階で大規模塩田開発を進め、福田新田開発を行うことで、地租改正時に161町歩の巨大地主に成長すると共に、明治10年(1877)には212町歩の巨大耕地地主を有することになる¹⁷⁾。土地経営から得られた約5,000石の小作米のうち1,900石程度は塩田経営に関わる浜子・職員に販売されており、巨大塩田地主と巨大耕地地主が内部的、構造的に結合していた点に特徴があった¹⁹⁾。さらに、塩田経営においては当作歩方制を、耕地経営においては世話人制を導入して管理した点に特徴がある。また、同家の経営は家訓に基き行われていた。すなわち、野崎家は明治20年の家訓では同家の経営する産業を①塩田、②耕宅地、③貸付金、④諸公債証書、⑤貸家の五種に限定し、④の諸公債証書については、限定付きで株式投資を認めるというものとなっている。そして家訓を運営するために親族や故旧雇人の中から名望家や企業家などで構成される17名の会員を設置し運営が行われている。その意味で

18) 本項の内容については、主として『岡山県史』『倉敷市史』の通史編の各巻、太田健一「資本制生産の展開と地主制」『日本地主制成立過程の研究』(福武書店、1981年)、安良城盛昭、中村政則「大原家の土地所有」東京大学社会科学研究所編『倉敷紡績の資本蓄積と大原家の土地所有』(1970年)を参考にしている。特に記載の無いものはこれらを参考にした。

19) 本項の野崎家については、(18)の他にナイカイ塩業株式会社社史編纂委員会編『備前児島野崎家の研究—ナイカイ塩業株式会社成立史—』(1983年)を参考にしている。なお、多額納税者議員互選人名簿には、所得額とは別に年齢によって記載されないことがある。

野崎武吉郎の経営主体は家であるが経営体であった。明治29年(1896)7月に「家則」を改正し「野崎宗家家宝」を制定するが、その中では、①政府発行の公債、②塩田、③土地および山林、④家屋の四種を基本財産としている。そして、有価証券は政府発行の公債のみしか認めないようにした。さらに、収益の1割を基本財産に充て資産の増殖をはかることとしている。こうした結果、有価証券投資はほとんどせず、台湾塩田経営や塩田関連工場設立などの設備投資を積極的に行うことになる。具体的には、明治33年(1900)に野崎台湾塩行を設立し、明治33年(1900)から36年(1903)にかけて、台南西海岸の布袋嘴に91町6畝余歩を開発し、さらに大正5年(1916)から10年(1921)にかけて96町6反の塩田開発を行っている。以上を踏まえつつ【表8】を参照すると、納税額ベースであるが、基本的に変わらない。そして、昭和7年(1932)の納税額を参照すると44,258円と、全国的にも有数の納税額となっている。この点、いささか納税額に疑問が残るが²⁰⁾、次の昭和14年(1939)は県内でも30位に後退している。また、当時の野崎家の経営を振り返ると、大正6年(1917)から昭和16年(1941)にかけて、野崎家は小作争議の影響もあってか、土地を613町歩から366町歩まで減らしている。また、国内製塩業においても合同機械製塩の政策に基づき、昭和元年には枝條架濃縮設備が設置され、昭和3年(1928)には味野にカナワ式製塩工場を設立している。さらには昭和13年(1938)には胸上村に真空式製塩工場を設立した。また、この間、昭和9年(1934)に野崎家としての個人経営から資本金30万円の法人組織としている。そして、昭和10年(1935)には当作歩方制なども廃止した。このように県下の資産家は、都市の商工業事業者や、地主層のレントナー化により資産を増やす一方で、衰退する資産家も多く存在し、浮き沈みが激しい中、野崎家は塩業一地主経営により堅実な経営が行われたといえるだろう。

20)『日本紳士録』所収の「多額納税者名簿(昭和七年)」を参照すると、同じ年でありながら、大原孫三郎(111,206円)、伊原木藻平(14,118円)、溝手保太郎(11,946円)、岡崎増太郎(9,814円)、大橋平右衛門(8,564円)、小野善吉(8,163円)、服部和一郎(8,092円)、土居通博(7,480円)、原澄治(7,027円)と、全く違う結果となっている。なお同名簿には野崎丹斐太郎の名前は掲載されていない。

【表8】近代岡山における資産家の変遷

明治23年（1890）				明治30年（1897）			
名前	所在地	納税額	職業	名前	所在地	納税額	職業
1 野崎武吉郎	児島郡味野村	5,865	農	1 野崎武吉郎	児島郡味野村	8,707	農業
2 大原孝四郎	窪屋郡倉敷町	5,795	商	2 大原孝四郎	窪屋郡倉敷町	6,508	商業
3 大橋平右衛門	窪屋郡倉敷町	2,063	農	3 星島謹一郎	児島郡藤戸村	2,269	農業
4 星島謹一郎	苫田郡藤戸村	1,661	農	4 大橋平右衛門	窪屋郡倉敷町	2,259	農業
5 服部平五郎	邑久郡牛窓町	1,577	商	5 伊原木藻平	上道郡西大寺町	2,132	商業
6 土居通信	苫田郡田邑村	1,576	農	6 服部平五郎	邑久郡牛窓町	2,088	商業
7 伊原木藻平	上道郡西大寺町	1,410	農	7 土居通信	西北條郡田邑村	1,964	農業
8 豊福俊雄	英田郡粟広村	1,355	農	8 片岡六郎	邑久郡幸嶋村	1,752	農業
9 日笠哲夫	苫田郡藤戸村	1,260	農	9 山上頼治	岡山市二日市町	1,606	農業
10 金田伝一郎	真島郡落合村	1,230	無職	10 日笠哲夫	児島郡藤戸村	1,573	農業
11 佐藤栄八	都宇郡江嶋村	1,218	商	11 豊福俊雄	吉野郡西米広村	1,571	農業
12 服部平九郎	邑久郡牛窓町	1,141	商	12 佐藤栄八	都宇郡茶屋町	1,484	商業
13 高木要造	賀陽郡庭瀬村	1,126	農	13 都志太郎	窪屋郡中洲村	1,474	無職
14 都志太郎	窪屋郡中洲村	1,103	農	14 早瀬和平次	浅口郡西之浦村	1,468	商業
15 梶谷伊平次	窪屋郡中洲村	1,084	農	15 服部平九郎	邑久郡牛窓町	1,422	商業

大正7年（1918）				大正14年（1925）			
名前	所在地	納税額	職業	名前	所在地	納税額	職業
1 大原孫三郎	倉敷町	18,710	紳士	1 菱川吉衛	岡山市	35,506	商
2 大橋平右衛門	倉敷町	7,609	農	2 大原孫三郎	都窪郡倉敷	34,221	会社員
3 野崎武吉郎	味野町	6,560	農	3 山下忠四郎	岡山市	18,743	商
4 津田資郎	邑久郡	5,974	商	4 岡崎増太郎	岡山市	11,078	商
5 伊原木藻平	岡山市	4,677	無	5 大橋平右衛門	都窪郡倉敷	10,097	農
6 尾崎邦蔵	児島郡	4,670	商	6 溝手保太郎	都窪郡早島	9,990	農
7 星島謹一郎	児島郡	4,518	農	7 野崎丹斐太郎	児島郡味野	9,948	農
8 溝手保太郎	都窪郡	4,486	会社員	8 伊原木藻平	上道西大寺	8,653	銀行員
9 妹尾與志太	真庭郡	4,483	農	9 宮原秀一	児島郡日比	8,390	農
10 服部平兵衛	牛窓町	4,386	会社員	10 服部平兵衛	邑久郡牛窓	8,018	商
11 藤田林蔵	足守町	4,064	農	11 星島謹一郎	児島郡藤戸	7,713	農
12 佐藤栄八	茶屋町	4,036	農	12 土居通博	苫田郡田邑	7,348	銀行員
13 宮原秀一	児島郡日比町	4,032	農	13 西山和三郎	久米郡大井西	6,686	商
14 土居通博	苫田郡	3,795	農	14 近藤啓次郎	児島郡銚立	5,977	商
15 菱川吉衛	岡山市	3,482	商	15 日笠啓夫	児島藤戸	5,464	農

【註】

- (1) 明治37年、明治43年、大正14年については「岡山県貴族院多額納税者議員互選人名簿」『倉敷紡績の』
- (2) 明治23年については「日本全国貴族院多額納税者議員互選名簿」『大正昭和日本全国資産家地主資料集』
- (3) 明治30年については「全国多額納税者互選名鑑」（渋谷隆一編）『明治期日本全国資産家地主資料集』
- (4) 大正7年については「貴族院多額納税者議員互選人名簿」『大正昭和日本全国資産家地主資料集』
- (5) 昭和7年については「全国貴族院多額納税者議員互選人名総覧」銀行信託通信社（国立国会図書館）

近代岡山における資産家・大地主

明治37年（1904）				明治43年（1910）			
名前	所在地	納税額	職業	名前	所在地	納税額	職業
1 大原孝四郎	窪屋郡倉敷町	7,922	銀行会社役員	1 大原孫三郎	都窪郡倉敷町	17,073	会社員
2 野崎武吉郎	児島郡味野村	3,737	農	2 服部平兵衛	邑久郡牛窓町	9,353	商
3 土居通信	西北条郡田邑村	3,579	農	3 大橋平右衛門	都窪郡倉敷町	8,103	農
4 服部平五郎	邑久郡牛窓町	3,329	商	4 野崎武吉郎	児島郡味野町	7,826	農
5 伊原木藻平	上道郡西大寺町	2,921	農	5 藤田林蔵	吉備郡足守町	5,919	農
6 大橋平右衛門	窪屋郡倉敷町	2,662	農	6 伊原木藻平	上道郡西大寺町	5,863	農
7 坂本金弥	岡山市右京	2,651	鉱山業	7 溝手保太郎	都窪郡早島町	5,563	無
8 佐藤栄八	都宇郡江島	2,598	商	8 梶谷芳之丞	都窪郡中瀬村	5,086	農
9 藤田林蔵	吉備郡足守町	2,534	農	9 土居通博	苫田郡田邑村	4,979	農
10 梶谷甚之丞	窪屋郡中洲村	2,413	農	10 片岡六郎	邑久郡幸島村	4,561	農
11 星島謹一郎	児島郡藤戸村	2,291	農	11 佐藤栄八	都窪郡茶屋町	4,324	商
12 服部平兵衛	邑久郡牛窓町	2,285	商	12 池上輝速	勝田郡北和気村	3,816	農
13 豊福俊雄	吉野郡米広村	2,277	農	13 豊福泰造	英田郡栗広村	3,591	農
14 日笠啓夫	児島郡藤戸村	2,035	農	14 早瀬和平治	浅口郡連島村	3,490	農
15 山上頼治	岡山市二日市	2,031	無	15 星島謹一郎	児島郡藤戸村	3,454	農

昭和7年（1932）				昭和14年（1939）			
名前	所在地	納税額	職業	名前	所在地	納税額	職業
1 野崎丹斐太郎	児島郡味野町	44,258	隠	1 溝口正次	和気郡三石町	17,379	工
2 大橋平右衛門	倉敷市	8,616	無	2 佐藤庄次郎	岡山市	16,853	工
3 伊原木藻平	岡山市	6,931	無	3 伊原木藻平	岡山市	15,062	会社員
4 小野善吉	岡山市	4,449	商業	4 後藤伸太郎	御津郡上建部村	12,622	工業
5 藤田連蔵	吉備郡足守町	4,400	農業	5 原田安治	岡山市	11,066	無
6 池田平作	浅口郡連島町	4,397	商業	6 藤田連蔵	吉備郡足守町	9,371	農業
7 溝手保太郎	都窪郡早島町	4,212	銀行業	7 日笠祐太郎	児島郡藤戸町	9,037	会社員
8 楠見忠三郎	岡山市	3,655	請負業	8 服部和三郎	邑久郡牛窓町	8,850	会社員
9 宮原秀一	児島郡日比町	3,466	農業	9 羽原音次郎	岡山市	8,115	請負業
10 日笠祐太郎	児島郡藤戸町	3,438	会社員	10 虫明一太郎	岡山市	7,752	会社員
11 土居通博	苫田郡田邑村	3,054	銀行業	11 川上庄七	浅口郡金光町	6,978	醸造業
12 近藤敬次郎	児島郡鉢立村	2,763	醸造業	12 榎本猛夫	岡山市	6,837	商業
13 難波弥一郎	倉敷市	2,695	商業	13 荻田興祿	津山市	6,837	会社員
14 服部和三郎	邑久郡牛窓町	2,619	農業	14 小野久彦	浅口郡長尾町	6,815	農業
15 佐藤庄次郎	岡山市	2,598	商業	15 多胡薫	勝田郡加茂村	6,610	醸造業

資本蓄積と大原家の土地所有 第二部附属資料（東京大学社会科学研究所調査報告 第12集）』（1970年）
 料集成Ⅳ』（1985年、柏書房）
 成Ⅳ』1984年）
 Ⅳ』（1985年、柏書房）
 デジタルコレクション）

都窪郡倉敷町の大原孝四郎（孫三郎）は、明治10年（1877）には104町歩を有し、松方デフレ期に土地集積を行い、明治23年（1890）には推定で367町歩、明治42年（1909）には推定で約550町歩を有するようになっている²¹⁾（21）。大原家の特徴は土地集積だけでなく、明治24年（1891）に倉敷銀行を設立し、この資金融通が土地集積や明治21年（1888）創業の倉敷紡績所設立を支え、さらに有価証券投資を積極的に行うことになった。大正13年（1924）には約322町歩にまで減らしており、積極的に企業経営に関与し成功させていく。産業資本家としての側面を重視するようになり土地整理が進められた。【表5】を参照すると、大原孫三郎は自身で322町歩の耕地を有しているが、他に大原孫三郎が寄付することで設立した財団法人大原奨農会が202町歩を有している。大原奨農会は、寄付した200町歩余りの土地を運用資金にあてて農業研究所を経営し、種芸、園芸、化学、昆虫、病理の研究部門も設け、研究活動を実施すると共に、農業講習所などを開いている。【表8】を参照すると、大正14年（1925）までは、大原孫三郎は岡山県下の有力資産家の地位を維持している。

都窪郡倉敷町の大橋家（大橋平右衛門）は、近世後期から土地集積が行われ、大正7年の段階で田畑、山林、塩田で、181町歩所有していた。大正7年（1918）には倉敷大橋銀行を設立し、県下でも有数な銀行にまで成長するが、昭和3年（1928）3月に山陽銀行に合併している。昭和7年（1932）まで大橋家は県下資産家の上位を占めていたが、昭和14年（1939）になると見られなくなる。これは倉敷大橋銀行が合併したことと関わることと思われる²²⁾。

都窪郡早島町の溝手家（溝手保太郎）は、近世後期に93町歩の耕地を集積し、明治17年の段階では114町歩となっている。その後は土地を増減させることなく、土地所有を基礎としながら明治20年（1887）代から株式・公社債

21) 大原家については、他に東京大学社会科学研究所編『倉敷紡績の資本蓄積と大原家の土地所有』（1970年）を参考にしている。

22) 大橋家については、落合功「倉敷大橋銀行の設立と農業倉庫」（『倉敷の歴史』第32号、2022年）、山本太郎「倉敷の町と大橋家一族」（岡山県郷土文化財団『岡山の自然と文化』37、2018年）。

投資の購入を進め、植民地「朝鮮」への土地経営に積極的になり、小作争議が激化すると、植民地「朝鮮」への進出を強めて行く。【表 8】を参照すると、日露戦争後の明治 43 年（1910）から溝手保太郎の名前が記載されているようになる。溝手家は土地所有に加えて有価証券投資や朝鮮半島に 180 町歩の土地を購入し、土地経営を進め、県下の代表的な資産家に成長していく。大正 12 年（1923）に岡山県多額納税者として補欠選挙で貴族院議員に互選され、14 年（1825）まで在任している²³⁾。

児島郡藤戸村の星島家（星島謹一郎）は新田開発地主として成長し、明治 10 年には 90 町歩の土地を集積した。松方デフレ期にも土地を集積し、明治 25 年（1892）には 225 町歩となり、その後は変わらない。大正 13 年（1924）には 194 町歩と減少し、大正・昭和期にかけて土地を漸次売却したと考えられる。注目できる点は、明治 30 年（1897）以降岡山市、倉敷市、神戸市などの市街地で建物宅地を取得している点と、有価証券投資が行われている点であり、明治 39 年（1906）ごろには 33 万円余りの有価証券を所有していた。地元株では、最大の投資先は備前紡績だが、基本的に岡山農工銀行、藤戸銀行、茶屋町銀行など銀行が多く、岡山農工銀行、東児銀行、備前紡績の取締役に就任するなど、地元企業経営に積極的に関わっていた。一般的な株式投資としては、南海鉄道、山陽鉄道、九州鉄道など、鉄道株を中心に大阪商船など運輸部門への投資が多い。【表 8】を参照しても、大正 14 年（1925）までは名前が連ねているものの、その後、記載が見られなくなる。

邑久郡牛窓の東服部家（服部平九郎）は、近世後期に西服部家から材木業を引継ぎ分家した。かかる利益を貸金業、土地集積に向け、近代以降土地集積を進めている。大正 6 年（1917）には 133 町歩を有したが、その後、小作争議などが起こると土地売却を進め、有価証券投資を積極的に行い、宅地・建物経営を進めた。ただし西服部家同様経営参画はしていない。昭和 20 年（1945）に

23) 溝手家については、他に森元辰昭『近代日本における地主・農民経営』（御茶の水書房、2007 年）。

は32町歩の耕地を所有していた²⁴⁾。

邑久郡牛窓の西服部家（服部平五郎、平兵衛、和一郎）は、土地、貸金、有価証券を基本財産とし、この三本の柱を軸に経営を進めている。土地所有は邑久郡、上道郡、赤磐郡、和気郡などに広がり、岡山市街地にも土地建物を所有していた。地域ごとに土地経営の法人化、地主組合の組織化を進めて土地経営の直接的掌握、安定化に努めるが、次第に土地売却の方向をとっていく。その後、植民地「朝鮮」への土地経営へ進出する。有価証券は所有するものの、経営参画はしていない。

児島郡藤戸村の日笠家（日笠哲夫（啓夫）、日笠祐太郎）は近世以来の新田地主として成長し、明治初年（1868）には41町歩土地集積している。明治19年（1886）に土地集積を積極的に行うことと諸税・諸経費の3年分は貯えおくことを家訓として制定し、積極的に土地集積を行っている。明治31年（1898）には104町歩の大地主となっている。その後、味野紡績所に出資するものうまくいっていない。また、貸金業が衰退する中、有価証券への投資が進められており、公債を軸としながら倉敷紡績に積極的に投資している。他に、明治29年（1896）に私立銀行として日笠銀行を設立する。このときに家訓を改正している。その後、日笠銀行は明治38年（1905）に合資会社日笠銀行となり、大正8年（1919）に倉敷銀行など6行が合併し第一合同銀行として倉敷に創立されるまで続く。この間の経営は良好で、純益率も高く、日笠家の資産にしめる銀行の割合も徐々に良くなったとされる。こうした中、【表8】を参照すると昭和恐慌によって、大地主が後退する中でも資産家としての地位を維持し続けている。

都窪郡酒津村の梶谷（梶谷甚之丞）家は近世の段階ですでに40町歩程度の土地を集積していたが、その後、明治20年（1887）には99町歩、25年（1892）には118町歩程度集積し、明治40年（1907）ごろまで110町歩前後を

24) 東服部家、西服部家については、他に森元辰昭『近代日本における地主・農民経営』御茶の水書房、2007年、大石嘉一郎編著『近代日本における地主経営の展開』1985年、御茶の水書房）を参考にしている。

維持している。他方で、明治23年ごろから株式投資が進むが、明治28年の軍事公債を除き、一貫して、投資先は玉島紡績、倉敷紡績、岡山紡績という主要紡績業の地方株が中心であった。倉敷紡績でも大原孝四郎に次いだ大株主であった。こうした中、【表8】を参照すると、明治43年（1910）までは高額納税者として登場しているが、その後、表中に見られなくなる。

吉備郡足守町の藤田家（藤田林蔵、藤田連蔵）は、近世においては鍋屋の屋号で地主経営と金穀貸付業を営んでいた。明治以降も、地主経営と金穀貸付業が経営の基本であったが、他に有価証券投資を進めている。日露戦争後になると、有価証券投資に積極的な様子がうかがわれるが、公債を中心としながら、県外株も積極的に購入している。県内株も中国鉄道、山陽商業銀行などであり、株式配当を期待する投資活動を行っているところに特徴がある。また、市街地の建物を積極的に購入している。

おわりに

岡山県の地主制は、一般的に明治20年代前半にほぼ一応の到達点に達し、以後、安定期に入ったといわれている²⁵⁾。ただ詳細には、明治23年（1890）ごろから安定するのは都窪郡酒津村梶谷家、同郡早島町溝手家、児島郡藤戸村星島家、日笠家、吉備郡足守町藤田家などだが、他方で児島郡味野町の野崎家、倉敷町の大原家、牛窓町西服部家（服部和一郎）などは、明治30年代に至るまで土地集積が続いているとしている。いずれにせよ、明治後期には土地集積は完了したといえるだろう。また、岡山県下の有力資産家の動向を振り返るとき、明治23年（1890）、明治30年（1897）年ごろに資産家として登場していた多くの大地主は大正期ごろに後退し、昭和7年（1932）、14年（1939）では、岡山市域の実業家が多く台頭していることがわかるだろう。

大地主について、古典的な成果だが、森元辰昭は『岡山大学所蔵 溝手家文

25) 「地主制の確立」(『岡山県史 第十巻 近代I』、1987年)。

書目録』の「解題」の中で、岡山県の地主制について、大きく5つに類型化している²⁶⁾。まず第一は、梶谷家のように近世中期から高利貸活動によって得られた資本を土地購入資金に繰り込み、土地集積を漸次拡大した場合である。第二は、商業活動や高利貸活動によって徐々に蓄積した資本を村方における特権を駆使して興除新田、福田新田などの新田開発に投資し、土地集積を実現し寄生地主化した野崎、星島、日笠家の新田開発地主、第三は大原家のように明治期に紡績業を興し、産業資本家として土地所有を拡大した産業資本地主である。第四は藤田農場の経営者藤田組を典型とする政商資本地主、そして、第五は西服部家のように近世後期は酒造業を主たる経営としており、明治維新後に貸金業を拡大し、その利益を土地投資に回し、松方デフレ期に土地集積を本格化させた場合である。

こうした岡山県の地主制をめぐる類型化は、県下の地主制を理解する上で一定程度役立つものであり、また、結局、地主制の問題は小作を抱え込みつつも、農業経営だけの問題でないことを示している。実態から見ると、戦間期の地主の動向はレントナー化を始め、産業資本家への展開など多様である。岡山県下の資産家の推移をみてもわかるように、地主層は経営内容を変化させたのである。また、野崎家や大原家などの有力資産家は、育英事業や慈善事業・土木普請事業など、地域に対する公共的活動を積極的に行い地方名望家としての役割を果たしてきた。

この点を踏まえたとき、個々の地主経営について、寄生地主制論に立脚するのではなく、地主制の問題として明らかにする必要があるだろう。個々の研究の実証部分を紐解きつつ、史料と向き合い総合化していく必要があると思われる。

以上を踏まえつつ、今後の展望として2つの点を指摘しておきたい。

一つ目は、事実関係として土地集積は行うものの、地主層は小作への土地貸与という形で経営が行われ、農業発展への積極的な取り組みは充分になされな

26) 岡山大学附属図書館『岡山大学所蔵 溝手家文書目録』(1976年)。

かったという点である。すなわち、結果として地主—小作関係によって定置された農業経営は大農法や機械化などを進めることが難しかったのではないかと考えられる。すなわち、激しい小作争議、政府の自作農政策、そして戦後農地改革によって、地主制は解体されていくことになるのだろうが農業発展の問題として検討の必要があるだろう。

二つ目は、岡山県の大地主の特徴として指摘できるのは、土地集積の地目が圧倒的に田が多いということである。すなわち、地主たちは商業的農業を促進するのではなく、米穀生産を推進する主体となっていた。たとえば県下南部の産業として、蘭草生産が盛んだったが、地主層はこうした商品作物生産へ転作することなく、米穀生産を推進している。また、大原家は倉敷紡績を設立し、産業資本家へと展開することが指摘されるが、その原料である綿糸の多くは、大阪から移入されており、少なくとも大原家所有地からではない。大原家自体が集積した土地も田方中心であった。その意味で、大原孝四郎は倉敷紡績所を設立した企業家であり、産業資本家ではあるが、それは商品作物生産を行い、その発展過程で工場を設立するようなものではない。そして、少なくとも、岡山県の大地主にはかかる存在（農村工業の延長で企業家になる）はいないのである。そして、このことは、岡山県だけの問題であるが、度重なる戦争や金融不安の中、好不況を繰り返す近代の歴史を振り返るなか、地主制は日本の農業、食料維持を下支えしていく存在であったことも展望できるのである。